

第七十六回帝國議會 昭和十一年法律第九十二號中改正法律案
院 輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件
委員會會議錄(速記)第十一回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
人造石油製造事業法中改正法律案
(政府提出)(第七號)
帝國燃料興業株式會社法中改正法律案(政府提出)(第七號)
帝國石油株式會社法案(政府提出)(第七號)

會議

昭和十六年二月十九日(水曜日)午後一時十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 川島正次郎君

理事片岡 恒一君 理事佐藤謙之輔君

理事鶴 惣市君

安倍 寛君

板野 友造君

川俣 清音君

小柳 牧衛君

植原悦二郎君

長谷 長次君

松永 義雄君

森田 福市君

渡邊玉三郎君

出席政府委員左ノ如シ

燃料局長官 東 榮二君

商工省礦產局長 鈴木 英雄君

物價局長官 牧 楢雄君

燃料局事務官 柳原 博光君

燃料局事務官 波江野 繁君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

人造石油製造事業法中改正法律案(政府提出)

帝國燃料興業株式會社法中改正法律案(政府提出)

帝國石油株式會社法案(政府提出)

○川島委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス――

長谷長次君

○長谷委員 今日ハ次官ハ御出席ナイノデスカ

○東政府委員 次官ハ貴族院ノ方ニ出席シテ居リマスノデ、今ノ所出席出來ナイヤウナ次第デアリマス

○長谷委員 ソレデハ商工省自體ノ御答辯ト云フモノハ又別ノ機會ニ承ルコトニ致シマスシテ、燃料局長官カラノ御説明ヲ伺ツテ

置キマス、燃料ノ獲得ノ立場カラ私達今日位日本ノ立場ガ困迫シテ居ルモノハナイト

存ジテ居リマスルガ、今回御提出ニナリマシタ石油會社法案ト云フモノノ眞髓ハ、過

般御説明ヲ受ケマシタシ、其ノ他ノ概括的ナコトハ私達ノ持ツ貧シイ知識ニ依ツテ大

抵推定ハ致シテ居リマス、ソコデ結論ハ、今日ノ急場ニ處スル方法トシテ、此ノ液體

燃料獲得ノ重點ヲ何處ニ置クカト云フ問題デアリマスシテ、過般ノ御説明ヲ私達ハ斯様

ニ受取ツテ居ルノデアリマスガ、極メテ抽象的ナル言葉デアリマシテ御諒解ニナリ得

ナイカトモ思ヒマスガ、間違ツテ居リマシタナラバ、順次私ノ尋ネルコトモ間違ツテ

行キマスノデ、此ノ點特ニ御尋ネテ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、ソレハ液體燃料獲

得ノ二大原則ヲ人造石油、天然石油ノ重點主義ノ強化ニ依ツテ行カウ、此ノ二點ニ歸

着シタノデハナカラウカト思ツテ居リマス、ソレデ其ノ數字ヲ承ツタノデスガ、先ヅ人

造石油ノ過般御説明ニナツタ數量ト云フ風ナモノハ、私達ガ今日持チ得ル最大限ノ希望ノ數字デアルノカ、ソレトモ更ニ資材、

技術、勞力ト云フ風ナモノガ手ニ入リマシタナラバ、更ニ多クノ人造石油ヲ期待スル

コトガ出來ルノデアルカドウカ、此ノ間ノ數字ハ本當ニ最高ノ「リミット」ト云フ風ニ承

ツテ置イテ宜シイカドウカ、是ガ一ツデアリマス、ソレカラ第二番目ノ天然石油ノ數

字デアリマスガ、アノ天然石油ノ數字モ今申上ゲマシヤウニ、私達ガ最高ノ努力ヲ

拂ツテ見テ、アノ數字シカ吾々ハ手ニ入レルコトガ出來ナイト云フ風ニ取ツテ置イテ

宜シイノデアアルカ、サモナケレバ更ニ資材ト、技術ト、勞力ガアツタラ、ヨリ以上ノモ

ノ天然石油ニ期待スルコトガ出來ルト云フ風ニ考ヘテ宜シイノカ、ソコヲ一ツ御説

明願ヒタイノデアリマス

○東政府委員 第一ノ人造石油ノ問題デゴザイマスガ、是ハ出來ルコトナラ其ノ生産

ノ多イ程宜イノハ明瞭デゴザイマス、大體今日吾々ノ立テマシタ目標ハ、今日ノ我が

國ノ資材、設備、技術、其ノ他凡ユル方面カラ考慮シテ、此ノ程度ハ可能デアル、又此

ノ程度ハ是非ヤリタイト云フ大體ノ目標デアルト御承知戴キタイノデアリマス、勿論資

材其ノ他技術等ニ付キマシテモ、極端ニ他ノモノヲ犠牲ニシテコナラヘ集中スルヤウニ

スレバ、更ニ若干目標ヲ高メルコトハ絕對不可能ダトハ言ヘナイノデアリマスガ、併

シ優先ト申シマシテモ自ラ限度ノアルコトデアリマシテ、凡ユル方法ヲ盡シテ最高ノ

能率ヲ發揮シテ、先ヅアノ邊ノ所ガ目標トシテ妥當デアルト云フヤウニ考ヘテ居ル譯デ

ゴザイマス、天然石油ニ付キマシテモ同様デアリマシテ、今日マデノ地質調査、試掘其

ノ他ノ調査ノ結果、又現在ノ日本ノ技術、其ノ他ノ開發能力カラ見マシテ、先ヅ此ノ

邊ノ所ガ精々ノ所デハナイカ、増産可能ノ目標デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ル次第

デゴザイマス

○長谷委員 私達ハマダ直チニ承服ハ出來ナイノデアリマス、資材ノ點ニ行詰ツテ居

ルノカ、ソレトモ技術ノ點ニ行詰ツテ居ルノカ、ソレトモ地質ノ調査ノ結果、資源ノ點

ニ於テ行詰ツテ居ルノカ、ドチラカニ基本條件ガアリマシテ、其ノ基本條件ヲ「コンバ

イン」シテ、三ツノ問題ガ「アレシ」サレテ居ルノデハナカラウカト思フノデアリマス、

ソコデ其ノ重點ヲ見付ケテ私達ハ建設的ニ協力ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、三

ツガ三ツトモ取上ゲラレテ御説明ヲ受ケテハ、私達トシテハ重點ノ擱ミドコロガナイ

ノデアリマス、更ニ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○東政府委員 只今ノ長谷サンノ御意見ハ、恐ラク國內ノ天然石油ノ開發ニ付デアラ

ウト御察シ致シマス(長谷委員「兩方デアリマ

「スト呼ブ」天然石油ニ付テハ、非常ニ色々意見ガアルコトヲ私共モ豫テカラ承知致シテ居リマス、是ハ極端ナ樂觀說ト申シマスカ、日本位大キナ油田地帯ヲ持ツテ居ル國ハ世界ニモ珍ラシイ、政府ガ金ヲ掛ケテ掘リサヘスレバ幾ラデモ増産出來ルト云フヤウナ意見モゴザイマス、私達モサウ云フ意見ヲ屢、直接或ハ間接ニ聞イテ居リマス、併シナガラ現在我が國ノ持ツテ居ル最高ノ技術、民間ニ於ケル技術又官廳ニ於ケル技術ヲ集メマシテ研究シテ結果ヲ綜合シテ、我が國內カラ天然石油ヲ開發スル限度ハ、凡ソ此ノ位ト云フ見當ヲ付ケテ居ルノデアリマス、其ノ見方ガ頭カラ間違ツテ居ルト云フコトニナリマスレバ、是ハ自ラ別問題デアリマスガ、其ノ見方ニ付テハ色々意見ガアルト云フコトハ承知致シテ居リマスガ、吾々トシテハ先ヅ最大ノ能力ヲ發揮シテ此ノ限度ガ最モ妥當ナ所デアリナカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、人造石油ニ付テモ同様デアリマス、先程モ申シタヤウニ、極端ニ他ノ總テノモノヲ犠牲ニシテモ、人造石油ヲ全資材、全技術、全能力ヲ集中スルコトニナリマスレバ、アノ目標ヨリ若干高メルコトハ勿論不可能デハナイト思ヒマス、併シサウ云フコトニハ自ラ限度ノアルコトデアリ、同じ重點主義ト申シテモ、自ラ限度ノアルコトデアリマシテ、先ヅ今日動員シ得ル技術、資材、勞力等ヲ動員シテ達シ得ル目標ガ、アノ位ノ所ト云フ考ヘテ持ツテ居リマス

○長谷委員 今ノ御説明ニ依ルト、結局御調査ノ結果、結論トシテ資材ニ對スル制限ヲ一定ノ所ニ置キ、ソレカラ技術ニ對スル制限ガ生マレルト云フ風ニ聞エタノデアリ

マス、此ノ程度ノ天然石油ヲ先ヅ探知シ、ソレニ對スル資材ト技術ヲ計畫シテ見タト云フ風ニ、今ノ御説明ヲ受取ツタノデアリマス、人造石油ニ付テモ同斷デアリマス、ソコデ私達ハ其ノ最善ノ努力ヲ拂ハレテ、而モ油田方面ノ地質調査ヲナサツタ、私達モ今日ノ情勢下ニ於ケル當局ノ御努力ニ對シテハ敬服致シテ居リマスガ、今私達ノ頭ニ浮ンデ居ル問題ハ、イツ何時日本ノ海外方面カラノ原油、精油、——精油ニ致シマシテモ私達ノ希望スルヤウナモノガ手ニ入ラスト云フヤウナ情勢ガ惹起サレル可能性ガアルノデアリマス、左様ナコトヲ考ヘル時ニ、ヤハリ勝負ハ應急ノ處置ト恒久ノ策ト二ツナケレバナラスノデアリマシテ、石油ニ關スル限りハ他ノ鐵、石炭又ハ重工業、工作機械、是等ノモノト變リマシテ、私達一番願念ヲ致シテ居リマス、サウ云フ風ナ立場デ御尋ネヲ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、日本ノ國ガ「フル」ニ、所謂一切ノモノヲ犠牲ニシテモ「フル」ニ動イタナラバ、天然石油ヲ云フモノヲドレダケ獲得出來ルカ、人造石油ハドレダケ「マキシマム」ニ出來ルカト云フコトガ知リタイノデアリマス、其ノ爲ニ御尋ネ致シテ居ルノデアリマスルカラシテ、ドウカサウ云フ積リデ二重ノ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、ソコデ問題ハ此ノ限ラレタル技術、資材、是ガ問題ニナツテ参リマス、其ノ次ノ問題ハ日本ノ製油能力ト云フモノガ問題ニナツテ参ルト思ヒマス、其次ニ問題ニナルコトハ、イザ鎌倉ノ場合ノ貯油能力デアリマス、ソレデ是等ノモノガ現實ノ問題トシテ浮カビ上ツテ参リマス、伴フ所ノ輸送力ノ確保ト云フヤウナ問題ヲ度外視致シマシテモ、此ノ點ハ重大デアリ

マス、ソコデ私達ハ今日日本ノ國ガドレダケノ現實ノ貯油量ヲ持ツテ居ルカ、原油トシテ、精油トシテドレダケノモノヲ持ツテ居ルカ、而シテ海外カラ來ルモノノ安全率ハドウノ程度ノモノデアアルカト云フ風ナモノノ先ヅ基準ヲ定メマシテ、其ノ足りナイ部分ヲドウ云フ風ニシテ補フカ、所謂戰爭情勢下ニ於ケル所ノ危險線ヲ突破シテ海外カラ手ニ入レルカ、サモナケレバ國內ノ總動員ヲスルカ、此ノ二ツ以外ニハナイノデアリマス、今海洋方面ノ情勢カラ見タナラバ、陸軍ノ兵力ガ動クト云フヤウナコトハマアマアアリ得ナイト思ヒマス、幸ヒニシテサウ云フ方面ガアリマセヌカラ鐵、重工業方面ノコトニ關聯致シマシテハ、多少私達安心シテ居ルノデアリマス、併シ石油ニ關スル限りチト違フノデアリマス、制空權ト云フモノト艦船ノ運動ト云フモノガ必然的ニ起ル、ソコデドウシテモ私達ハ現在ノ資材ト技術ト云フモノノ、商工當局或ハ企畫院アタリノ御計算ト云フモノガ、他ニ御遠慮ガアツタガ爲ニ數ガ減ツテ居ルト云フヤウナコトガアリマシタナラバ、モウ一遍私達ハ説ヲ吐キタイノデアリマス、併シ今長官カラノ御説明デハ、國內ニ於ケル所ノ油田ハ先ヅ是ガ最高限度ノ調査ヲ基準トシタ、人造石油モ最高ノモノヲ基準トシテ居ルト云フヤウナコトヲ言ハルノデシタナラバ、殘ル問題ハ、殘念ナガラ資材ト技術ヲ最高ニ活躍サセル以外ニ方法ガナイ、私共ハドウモ數ヲ胡魔化ス譯ニ行カヌノデアリマスルカラ、自然ソコニ行クノデアリマサルガ、ソコデ其ノ點ニ付キマシテ御尋ネ申上ゲタイノデアリマス、過般御説明ニナリマシタガ、日本ノ油田ヲ今マダ新潟カラ山

形、秋田ノ線ニ取ツテ居ラレル、此ノ方面ノ日本ノ天然石油重點主義、是ハ吾々モ諒ト致シマス、今日ハ劣惡ナル所ノ油田、或ハ又殘念ナガラ失敗ニ終ツタ油田、或ハ未着手ノ分デモ將來希望ノナイモノ、斯ウ云フモノノ調整統合、或ハ權利賣買、是ハ當然デアリマス、ダカラシテ其ノ最モ良イ所ニ對シテ最高ノ重點ヲ振ツテ行カナケレバナラス、其ノ結論ガアア云フヤウナ數字ニナツテ出タノダラウト私達ハ想定致シマス、此ノ點ガ間違ツテ居ツタラ後ニ御訂正ヲ願ヒタイノデアリマス、ソコデ次ノ問題トシテ、石油ハソレデ宜イ、所ガ此ノ油化用ノ石炭ト云フヤウナモノニ付テノ調査ハ、萬ナサレテ居ルモノト承知致シテ宜シイノデアルカドウカ、私達ノ希望スルモノハ、今日日本ノ油化工場ノ設置地帯、ソレカラ油化工場ノ持ツ能力、ソレガ調査ト「フル」ニ行ク能力ト工場ノ施設ト云フ風ナモノハ、ヤハリ今長官ガ説明サレタヤウニ、全部ノ工場ニ對シテ此ノ工場ガ「マキシマム」ニ動クト云フ所ノ計算ノ下ニ、其ノ資材ト技術ガ配置サレルヤウニナツテ居ルカ、其ノ結論ノ數字ガ過般申サレタ數字デアルカドウカト云フコトヲ承リタイノデアリマス

○東政府委員 人造石油ノ製造計畫ニ付キマシテハ、各工場毎ニ工場建設ニ要スル資材ハ勿論、ソレニ要スル石炭、電力等ニ至ルマデ、悉クドレダケ要ルカ、ソレヲドウ云フ方法デ何處カラ供給スルカト云フ計畫ハ全部立ツテ居リマス、總テ現實ニ即シテ各工場毎ニ計畫シテ、之ヲ綜合シタモノガ過般申上ゲタ合計ニナル譯デアリマス

○長谷委員 私ハソレヲ其ノ儘受取りマス、極メテ安心ヲ得ルノデアリマス、サ

ウスレバマダソコニ活躍スル餘地ガアルノ
デアリマス、今長官ガ御説明ニナツタ御言
葉ノ通りデアルト致シマシタラバ、マダ
更ニ技術ヲ擴張シ、更ニ資材ヲ獲得シタナ
ラバ、ヨリ以上ノ數字ガ取レルト云フコト
ニモ取レルノデアリマス、其ノ點ニ付キマ
シテハ又後程御尋ネテ申上ゲマス

次ノ點ハ昨今從來ト違ヒマシテハ大陸
關係ノコトデアリマシテ、或ハ御説明ガ出
來ナイノカトモ存ジマスガ、ヤハリ持タレ
ル所ノ御説明ダケデ御答辯ヲ願ヒタイ、ソ
レハ頁岩ノ問題デアリマス、是ハ昨今ノ情
勢カラ見マシテ急角度ニ頁岩カラ來ル所ノ
液體ヲ採ルガ爲メ、頁岩採掘ト云フ風ナ問
題ガ起ツテ來テ居リマス、ソコデ此ノ頁岩
ノ所謂埋藏量ノ調査、ソレガ行キ付クマデ
ニドノ程度マデニ行ツタナラバ最高ノ能率
ヲ擧ゲ得ルカト云フコトノ、工場組織、罐
ノ數ト云フ風ナモノヲ私達ハ考ヘテ見タイ、
アソコハ幸ヒニシテ御承知ノ通りニ相當經
驗ヲ經テ結果デアリマシテ、之ヲ擴大スル
ニ至リマシタナラバ、品質ハ落チケレド
モ相當ノ埋藏量ダケアツタナラバ、アノ頁
岩カラ來ル所ノ「オイル」ハ相當ノ數量ニ上ツ
テ行クノデヤナイカ、是モ私達希望ノ立場
ニ立ツ者ハ自然トソコニ眼ガ向フノデアリ
マス、アノ數モ——是ハ滿洲ニ關スル問題
デアリマスカラ、長官ニ御尋ネスルノハ間
違ツテ居ルカ知レマセヌガ、御説明ヲ願ヒ
タイノデアリマス、アレモ是ハ過般御説明
ニナツタ數字ノ中ニ入ツテ居ルノカドウ
カ、更ニ技術ト資材ヲアソコヘ打チ込ンデ
行ツタラモウ少シ出ルノデヤナカラウカ
ト、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、此
ノ點ハ如何デアリマスカ

○東政府委員 過般申上ゲマシタ人造石油
ノ振興計畫ノ中ニハ、頁岩ノ増産ノ分モ含
ンデ居リマス、之ニ付キマシテモドレダケ
ノ資材ヲ必要トシ、ドレダケノ頁岩ヲ採掘
シテ、サウシテ何年ノ中ニドレダケノ油ヲ
出サウト云フ計畫ガ全部立ツテ居リマス

○長谷委員 第四番目ハ無水「アルコール」其
ノ他液體燃料デアリマスガ、此ノ點モ萬一
ノ場合ヲ想定サレテ數字ガ出タモノト解釋
致シテ居リマス、以上四ツトモ日本ノ液體
燃料獲得ノ「リミット」ナンデアリマスガ、
今此ノ四ツヲ引括メテ私一ツ質問ヲ申上ゲ
タイ、資材ガ足りナクテ泣イテ居ル工場ガ
アリマス、ソレカラ又物ガナクテ泣イテ居
ル工場ガアル、所謂口ノ中ヘ入レル物ガナ
クテ泣イテ居ル者ガアルノデアリマス、能
力ガ「フル」ニ動イテ居ラスモノガアル、斯ウ
云フ風ナ事實關係ヲ私達相當見ルノデアリ
マス、此ノ事實ハ何處ニ原因ヲ持ツテ居ル
カト云フコトヲ私達ガ探究致シマス、所
謂重點主義ト云フ風ナモノガ何カノ爲ニ禍
ヒサレテ居リマス、其ノ何カノ爲ニ禍ヒサ
レテ居ル所ノ根本ノ原因ガ何處ニアルカ、
此ノ救済策ニ對シテ私達ハ全努力ヲ拂ツテ
行カナケレバナラヌト存ジマス

ソコデ次ノ問題ヲ御尋ネ申上ゲタイノデ
アリマス、特殊會社ト云フモノガ非常ニ成績
ガ惡イ是ハ成績ノ惡イノガ當リ前ナンデス、
國策會社ガ儲ケルナドト云フ考ヘテ持ツコト
ガ根本的ニ間違ツテ居ル、私達ハソレハ咎メ
ナイ、併シ高祿ヲ食ンデ、仕事モ七分六分
ト云フ風ナ程度ニ於テ、ロヲ藉スニ資材ガ
足りナイ人ガ足りナイト云フテ、殘念ナガ
ラ日本ノ大切ナル資材ヲ其ノ儘死藏シテ居
ル所ノ國策會社ガドレダケアルカ、素晴シ

ク多イノデアリマス、今此ノ石油會社ノ配
下ニ屬スルモノガ十一アルヤウニ見受ケラ
レマス、此ノ十一ノ工場ガドウ云フ風ナ姿
ニナツテ居ルカ、之ヲ一ツ十分檢討シテ見
ル必要ガアルノデアリマス、大抵ノ場合ハ
コンナコトヲ言フノデアリマス、資材ガ足
リナイ、モウ一割資材ヲ呉レルナラバ「フル」
ニ動ク、油ガ出セル、斯ウ云フコトヲ言フ
ノガ大抵原則デアリマス、ソレカラ第二番
目ハ技術者ガ足りナイ、之ヲ言フノガ大抵
ノ場合普通デアリマス、此ノ二點ヲ打開シ得
ル途ガ全然ナイノデアアルカドウカ、今長官ガ
申サレタヤウニ、アノ數字ハ資材ニ於テモ、技
術ニ於テモ、人ニ於テモ、全部基本ハ原料カ
ラ來テ居ル、油田カラ來テ居ル、斯ウ云フ風
ニ説明ヲ受ケタカラ、私達ハ斯ウ云フ風ナ
間ヒ方ヲシナケレバナラヌ、サウデヤナイ、
聽イテ見タラ大抵資材ガ足りナイ、人ガ足
リナイト云フ、此ノ二點ニ歸着スルノデア
リマス、此ノ二點ドウロツキ廻ツテ居ル所
ノ會社ガ澤山アル、之ヲ解決スルコトガ出
來ナカツタラ、如何ニオヤリニナツテモ國
策會社ト云フモノノ非難攻撃ハ逃レル譯ニ
ハ行カヌノデアリマス、私ハ特ニ申上ゲタ
イ、今日農村團ノ議員ノ人達ガ、アレダケ
ノ力ヲ以テ食糧確保ニ對シテヤツテ居ル、
ヤツテ居ルコト自體ニ對シテハ、吾々ハ批
判ノ眼ヲ持ツテ居ルガ、兎ニ角熱意ヲ以テ
ヤツテ居ル、併シ飯ハ食ハナクテモ彈ハ要
ル、其ノ一番大事ナ重工業ノ中、私達ハ既
ニ此ノ委員會デ二ツ片付ケテ參ツタノデア
リマス、今殘ツテ居ルモノガ日本ノ液體燃
料、此ノ問題ニ付キマシテモ私達ハ割切レ
ヌヤウナ氣持デ此ノ委員會ヲ終ツテ行クト
云フ風ナコトニナツタラ、私達ハ宜イガ、

國家ガ保ツテ行カナイ、之ニ何處マデモ「メ
ス」ヲ入レテ行カナゲレバナラヌト思ヒマ
ス、ソコデ資材不足デ啣ツテ居ル工場ガア
リハセヌカドウカ、其ノ點ヲ一ツ御調査ニ
ナツテ貰ヒタイ、人ガ足りナカツタナラ、
其ノ人ノヤリ繰ト云フヤウナモノヲ考ヘラ
レタコトガアルカドウカ之ヲ一ツ是非トモ
ヤツテ貰ヒタイノデアリマス、此ノ席ニ於
テ斯様ナ點ニ御答辯ヲ求メル點ガアリマシ
タラ御説明ヲ願ヒタイ、若シ私達ノ持ツ此
ノ氣持ニ間違ツテ居ルコトガアリマシタラ
一ツ訂正ヲ願ヒタイ、間違ツテ居ラナカツ
タラ是ハアナタ方ノ御手デヤツテ貰ハナケ
レバ駄目ナンデス、今日國策會社ヲ監督ス
ルノハ商工省以外ニナイ、其ノ商工省ガ監
督不行屬デアリマシタナラバ、如何ナル法
律ヲ作ツテモ物ハ出デ參ラスノデアリマス、
ダカラシテ、ドウシテモ高給ヲ食ンデ遊ン
デ居ル、ト同時ニ資材不足ヲ啣ツテ居ル、
又人的資源ノ不足ヲ啣ツテ居ツテ能率ノ上
ラヌ人間ガ十人ノ中九人マデ居ル、サウ云
フヤツハ片ツ端カラ片付ケテ、セメテ三ツ
デモ四ツデモ宜イカラ銓衡重點主義ヲ執ラ
ナケレバ駄目ナンデス、其ノ點ノ御見解ヲ
承リタイ

○東政府委員 資材、技術、勞力、皆非常
ニ不足シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリ
マス、隨テ其ノ配給ノ統制ニ付テハ色々苦
心ヲシテ居ルノデアリマスガ、時ニ其ノ配
給ノ方法等ニ付テモ間違ツタ點、或ハ圓滑
ニ行カヌ點ガアルト思ヒマス、併シナガラ
石油ニ關スル限り、何處ニドウ云フ資材ガ
足ラヌカ、何處ノ工場ガ豫定通り進行シナ
イノハ何處ニ原因ガアルカト云フコトハ、
調査スルマデモナク燃料局トシテハ一カラ

十マデ承知致シテ居リマス、之ヲ成ベク早ク促進シテ完成サセルコトニハ、常ニ全幅ノ努力ヲ拂ツテ居ルノデアリマシテ、必ズシモ會社當局ガ怠ケテ居ル譯デモナケレバ、又間違ツタコトヲヤツテ居ル譯デモナイ、燃料局ノ監督ガ不十分ナル爲デモナイノデアリマス、唯總テノ資材ノ配給ナリ其ノ他ノ計畫ガ、色々ナ原因ニ依ツテ必ズシモ計畫通り行カヌコトガアリマス爲ニ、其ノ爲ニ支障ヲ來シテ總テノ計畫ガ豫定通り行カヌノデアリマス、是ハ御説ノ通り出來ルダケ其ノ障礙ヲ克服シテ、其ノ工場ノ完成ヲ急ガナケレバナラヌノデアリマス、ソレニ向ツテ私共ハ毎日心膽ヲ碎イテ努力シテ居ルト云フコトヲ御諒承願ヒタイノデアリマス

ニ死藏シテ居ル技術ヲ取上ゲル、斯ウ云フ考ヘハオアリニナリマセヌカ

會社ノ數ハ分リマセヌガ、十カソコノモノト思ヒマス、此ノ會社自體ニ、今申上ゲマシタヤウナ中途半端デ以テ、役ニ立ツテ居ラス會社ガアルノデハナイカト云フコトヲ、私達ハ耳ニシテ居ルノデアリマス、之ヲモウ一遍「メス」ヲ入レテ御調査ヲ願ヒタイ、此ノ中ニサヘモマダ下ラヌモノガアリマセヌカ、斯ウ思フノデアリマス、況シテ是レ以外ノモノガアリ得タラ、ソレハ當然此ノ際整理シテ貫ハナケレバナラヌノデアリマス、ソコデ當局ノ方デ徹底的ニ重點主義ヲ以テ行ク、資材ニ於テモ、技術ニ於テモ、サウ云フ風ヲ御決意ガナイ限リハ、次ノ質問ヲスルコトハ無駄ナノデアリマス、今日ノ重點主義ト言ヒマス、一番良イ所ニ最高ノ能率ヲ上ゲサセル、永遠ノ生命ヲ持ツ所ノ國內ニ於ケル油田ノ恆久對策ハ、是ハヤラナケレバナラヌガ、併シ其ノ半面ニ於テ十分ニ資材ト技術ト云フモノヲ保有シナケレバナラヌ、此ノ三ツハ非常ナル困苦ノ下ニ堪ヘテ行カナケレバナラヌ條件バカリデアリマス、サウスレバ泣カナケレバナラヌ者ガ相當出來ルコトハ當然デアリマス、泣カシテ宜イデハナイカ、泣カシテ、其ノ泣カシタ人達ニ對スル一ツノ調整統合、權利買収、其ノ他轉業對策ト云フ風ナモノヲ今日ニシテ立テ置イテ戴カナケレバ、吾々ノ手許ニハ技術資材ト云フモノノ餘裕ハ絕對ニ殘リ得ナイト存ジマス、此ノ決意ガアラレルカドウカ、少クトモ幾ラカノ技術ト資材ト云フモノノ餘裕ヲ取ツテ置キタイ、何時デモ突込タル餘裕ヲ取ツテ置キタイ、「イニシアティヴ」ヲ取ツテ置キタイ、此ノ氣持カラ私ハ申上ゲルノデアリマス、ナイモノカラ今日ヨリ更ニ節約

シナケレバ、我々ニハ餘裕ハ出來ナイノデアリマス、ダカラ切込デ行ク先ハドツチカト云フト、泣カス人間ヲ作ル以外ニ方法ハナイノデアリマス、如何デスカ

○東政府委員 人造石油ノ關係ニ於キマシテハ、初メカラ許可制ヲ採リマシテ、十分ナ見込ガアリ、能力ヲ具ヘタモノデナケレバ許可致シテ居リマセヌノデ、今御話ノヤウナモノハ全然ゴザイマセヌ、天然石油ニ付キマシテハ、是ハ技術實力等、開發スルダケノ力ナクシテ礦區ヲ持ツテ居ル者ガ相當ゴザイマス、之ニ付キマシテハ之ヲ開發スル爲ニ、現在帝國石油資源開發株式會社ト云フモノヲ作りマシテ、此ノ會社ガソレ等ノ礦業權者ニ代ツテ之ヲ開發スルコトニナツテ、既ニ計畫ガ立ツテ、其ノ計畫ニ從ツテ開發致シテ居リマス、今後モ此ノ方針デ行キタイト考ヘテ居リマス、唯製油工場等ニ付キマシテハ、若干今日「フル」ニ動イテ居ラナイモノガアルト存ジマス、是等ノモノニ付キマシテハ、勿論今後ハ重點主義デニシテ他ニ利用シ得ベキモノハ、之ヲ他ニ利用シ得ルヤウニシテ行キタイト存ジテ居リマス

○長谷委員 今ノ御説明ニ、更ニモウ一應御説明願ヒタイコトガアルノデアリマス、ソレハ私達ガ配付ヲ受ケマシタ帝國石油資源開發株式會社ノ内容ニ於ケル、此ノ共同礦業權者ノ差配スル山元、是ダケデモヤハリ私ガ今申上ゲマシタヤウナ、中途半端ナ形ニナツテ居ルモノガ相當アリハセヌカト存ジマス、是ハ十分御確メニナツテ居ラレルト存ジマスルガ、私達ハ巷間傳ヘラレル所ヲ耳ニ致シテ居リマスカラ、斯様ナコトヲ申上ゲマスガ、殘念ナガラ間違ツテ居ルカモ知レマセヌ、併シ私達ノ希望スル所ハ、

○東政府委員 石油ノ精製業ニ付テハ、先程モ申シマシタヤウニ、相當設備ガ古クナツテ、今日十分ニ能率良ク利用出來ナイモノモアリマス、又若干設備ガ餘ツテ居ルモノモアリマスノデ、是等ノモノハ今後整理シテ行クコトハ勿論必要ト考ヘテ居リマス、天然石油ノ試掘ナリ開發ニ付キマシテハ、今日無駄ニ資材ヲ使ヒ、無駄ニ機械ヲ使ツテ居ル所ハナイト存ジマス、若シ十分ナ資力ナクシテ試掘ニ着手シタガ、途中デ之ヲ繼續シテ行クコトガ出來ナイト云フヤウナモノガアリマスレバ、是ハ當然帝國石油資源開發株式會社ナリ、今後帝國石油會社ガ出來マスレバ、是ガ代ツテソレヲ引受ケテヤツテ行クコトニナリマスノデ、無駄ニ遊ンデ居ルモノハ今後ハアリ得ナイト存ジマス

○長谷委員 我ハ見タ場所ハ少イノデアリマス、ダカラ全部ヲ推測シテ申ス譯ニ行カヌノデアリマスガ、成程今ノ長官ノ御説明ハ、私達モ諒ト致シマス、サウ云フ御答辯ガ當局カラ出ルコトハ當然ナノデアリマス、併シ私ガ一番先ニ御尋ネシタノハ其ノ爲ノ條件ニナツテ居ル譯デアリマシテ、日本油田ノ重點主義ヲ何處ニ持ツカ、資材ノ使ヒ方ガ何處ニ行クカ、能力ガドウカト云フヤウナコトカラ私達ハ御尋ネシタノデアリマス、ダカラ今日深度ノ點ニ於テ、其ノ希望ガ持テルカ持テヌカノ點ニ於テ、私達ハ考ヘナケレバナラヌ所ノ油田開發ガ相當ニアリハセヌカト思ヒマス、サウ云フ風ナモノ

○長谷委員 今ノ御精神ニ對シテハ私達全幅ノ贊意ヲ表シマス、ソコデ更ニ申上ゲタイノハ、モウ少シ切込シテ劣惡ナル條件ノ下ニ前途ニ望ミノナイ一切ノ礦業權者ト云フモノヲ一刀兩斷ニ斬ツテシマフ、サウシテ技術資材ヲ他ニ有效ニ使フ、是ハ中々斬ラウト思ツテモ斬レナイノハ人情デアリマス、併シ今日ノ場合、是位大切ナ問題ハナイノデハナカラウカト存ジマス、況シテ此ノ石油會社ガ更ニ發展スル所ノ意圖ノ下ニ資材ト技術トガ欲シイ、ソコデ不要不急ノモノニハ資材ヲ渡サヌト云フダケデナク、其ノ劣惡ナル條件ノ下ニ休眠シテ居ルヤウナモノヲ整理、調整、權利ノ買収ト云フ風ナコトヲ致シマシテ、而モ其ノ權利ノ買収モ出來得ベクンバ脈々トシテ流レテ居ル所ノ國民ノ喜ビノ下ニ之ヲ買収スル對策ヲ講ジテ、一日モ早く足ラヌ所ニ資材ノ配給ヲセラレルダケデナクテ、其ノ遊ンデ居ル資材、徒

○長谷委員 今ノ御説明ニ、更ニモウ一應御説明願ヒタイコトガアルノデアリマス、ソレハ私達ガ配付ヲ受ケマシタ帝國石油資源開發株式會社ノ内容ニ於ケル、此ノ共同礦業權者ノ差配スル山元、是ダケデモヤハリ私ガ今申上ゲマシタヤウナ、中途半端ナ形ニナツテ居ルモノガ相當アリハセヌカト存ジマス、是ハ十分御確メニナツテ居ラレルト存ジマスルガ、私達ハ巷間傳ヘラレル所ヲ耳ニ致シテ居リマスカラ、斯様ナコトヲ申上ゲマスガ、殘念ナガラ間違ツテ居ルカモ知レマセヌ、併シ私達ノ希望スル所ハ、

○東政府委員 石油ノ精製業ニ付テハ、先程モ申シマシタヤウニ、相當設備ガ古クナツテ、今日十分ニ能率良ク利用出來ナイモノモアリマス、又若干設備ガ餘ツテ居ルモノモアリマスノデ、是等ノモノハ今後整理シテ行クコトハ勿論必要ト考ヘテ居リマス、天然石油ノ試掘ナリ開發ニ付キマシテハ、今日無駄ニ資材ヲ使ヒ、無駄ニ機械ヲ使ツテ居ル所ハナイト存ジマス、若シ十分ナ資力ナクシテ試掘ニ着手シタガ、途中デ之ヲ繼續シテ行クコトガ出來ナイト云フヤウナモノガアリマスレバ、是ハ當然帝國石油資源開發株式會社ナリ、今後帝國石油會社ガ出來マスレバ、是ガ代ツテソレヲ引受ケテヤツテ行クコトニナリマスノデ、無駄ニ遊ンデ居ルモノハ今後ハアリ得ナイト存ジマス

○長谷委員 我ハ見タ場所ハ少イノデアリマス、ダカラ全部ヲ推測シテ申ス譯ニ行カヌノデアリマスガ、成程今ノ長官ノ御説明ハ、私達モ諒ト致シマス、サウ云フ御答辯ガ當局カラ出ルコトハ當然ナノデアリマス、併シ私ガ一番先ニ御尋ネシタノハ其ノ爲ノ條件ニナツテ居ル譯デアリマシテ、日本油田ノ重點主義ヲ何處ニ持ツカ、資材ノ使ヒ方ガ何處ニ行クカ、能力ガドウカト云フヤウナコトカラ私達ハ御尋ネシタノデアリマス、ダカラ今日深度ノ點ニ於テ、其ノ希望ガ持テルカ持テヌカノ點ニ於テ、私達ハ考ヘナケレバナラヌ所ノ油田開發ガ相當ニアリハセヌカト思ヒマス、サウ云フ風ナモノ

ニ對シテ、モウ一遍此ノ目前ニ控ヘタ所ノ緊急對策ニ對シテ、私達ハ更ニ御考ヘテ願ハナケレバナラス、其ノ際ニ泣ク人間ガ出來ル、泣ク人間ガ出來ルカラ、之ニ對シテ豫メ對策ヲ講ジナケレバナラス、斯ウ云フ論法ヲ立テ居ルノデアリマス、私ハ無駄ナモノガアルト思ヒマス、是ハ私個人ノ意見デアリマシテ、衝突ニナリマスカラ避ケマスガ、私達ハ餘リニモ公平ナ重點主義ト云フモノガ禍ヒシテ居リハセヌカト思フノデアリマス、誰デモ油田ノ開發ヲ條件トシテ來タラ、是マデ全部其ノ手ニ乗ツテシマツタノデアリマス、其ノ爲ニ御承知ノ通り一遍手ヲ着ケタラ、——是ハ外ノ言葉デ申シタラ良イ言葉ガアルカモ知レマセヌガ、段々資材モ金モ手繰リ出サレテシマフ、是ガ原則デアリマス、ダカラ工場ヲ造ル際ニ、ソウ云フモノハ氣持好ク切ツテ除ケテシマツタラドウデスカ、私達ハ要ラスモノガアルト思フ、相當深度以上ノモノハ日本ノ技術デハイカヌ、ソレハ研究シナケレバナラス、私ハ今日資材ガ不足デ泣イテ居ルト云フヤウナコトヲ聞クモノデスカラ、出來ルダケ資材ヲ造リタイ、ヤリタイト同時ニ、更ニ發展スル爲ニ資材ヲ確保シタイ、サウ云フ點ヲ申上ゲルト同時ニ、萬一ノ場合ニ泣ク人達ニ對スル對策ヲ今日カラ講ジテ置カナカツタラバ、日本ハ其ノ方面カラノ金融恐慌ヲ伴フ、秘密會デナイ爲ニ十分ノ言葉ヲ盡セマセヌガ、併シ私ガ是ダケノ抽象的言葉ヲ申上ゲマシタラバ、植民地ヲ入レテノ日本ノ油田計畫ヲモウ一遍立テ直ス方法ガアルノデハナイカト思ヒマス、是ダケヲ申上ゲテ次ニ移リマス

技術者ヲ要スルト云フコトハ、是ハ千モ御承知ノ通りデアリマス、然ルニ今日以前ニ於テ油化工業ノ技術能力ヲ持つテ居ル者ヲ養成シテ學校ト云フ風ナモノハホンノ僅カシカナイノデアリマス、所謂高壓高壓ノ化學ヲヤツテ來タ者ハ殆ドナイノデアリマス、而モ其ノ高壓高壓ヲヤツタ所ノ技術者ガ、今日油化工業ニ行ツテ居ル者ガ何名アルカ、勿論外ノ國防産業ノ中デモ必要ナモノアルコトハ當然デアリマス、此ノ餘所ノ無駄ナ、要ラナイ、不急ナ、平和的ナ産業體系ニ入ツテ居ツテ、此ノ高壓高壓ノ本當ノ最高ノ技術ヲ持つテ居ル所ノ者、之ヲ二三箇月モ一年モ教ヘタラバ、又元ノ燃リニ戻ツテ立派ナ液體燃料トシテノ技術者ニナリ得ル所ノ者ガ澤山アル、是等ノ人間ヲ徵用セラレルト云フ風ナコトニナツテ行カナイト、急角度ニ人ノ問題ガ解決サレヌト思ヒマス、此ノ點ハ如何デス

○東政府委員 技術者ハ今日凡ル方面ニ非常ニ不足シテ居リマス、サウデアリマスカラ新卒生ニ付キマシテハ既ニ割當制度ヲ採用シテ、必要ナ方面ニ必要ナダケノ人員ヲ確保スルト云フ方法ヲ執ツテ居ルノデアリマス、唯御承知ノ通り人造石油事業ト云フヤウナモノハ極ク最近ニ起ツタ事業デアリマス、「ドイツイ」如キガ一番古イノデアリマスケレドモ、ソレニシテモ極メテ最近ノコトデアリマス、況ヤ日本ノ如キ此ノ事業ニ手ヲ染メタノハ極メテ最近ノコトデアリマスカラ、サウ古クカラ技術者等ヲ用意シテナカツタコトハ、是ハ無理モナイコトデアリマス、隨テ今日非常ニ不足シテ居リマスガ、併シ是ハ此ノ方面ニ必要ナモノハ全部之ヲ確保シテ行ツテ居リマス、今後ノ技術者ニ付キマシテモ、高級ノ學校ノ卒業生ニ付テハ、割當ノ際ニ十分割當ヲ貰フト云フコト、ソレカラ下級ノ技術者ニ付キマシテハ、先年來民間ノ業ノ者ニ補助金ヲ出シマシテ、下級技術者ノ養成ヲヤラセテ居ルノデアリマシテ、是等ノモノノ卒業生モ年々出テ參リマスカラ、十分マデハ行カナクテモ、段々ニ補充ガ出來テ行クコト考ヘテ居リマス

○長谷委員 今ノ御説明ハ一應其ノ通りデアリマス、私ノ尋ネテ居ルハサウデヤナイノデス、要ラス所ヘ行ツテ居ル所ノ、一寸勉強サセタラ又元ヘ燃リガ戻ツテ、所謂此ノ油化工業方面ノ技術者ニナリ得ル所ノ資格ヲ持つテ居ル人間ヲドウスルカト云フ問題デアリマス、其ノ人間ヲ徵用スルコトガ出來ルノカ出來ヌノカト云フ問題デアリマス、第一點ハソコマデノ準備ガアルノガドウカト云フ問題デアリマス、俗ナ言葉デ申上ゲマシタラバ、ソレヲ專門ニ勉強シタ者ガ餘所ノ會社ヘ行ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ人間ヲ此ノ際最高ノ重點ヘ全部突込デ行カナケレバ、研究モ出來ナケレバ人モ足りナイ、斯ウ云フ風ナ氣持カラ御尋ネヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、他會社ニ於ケル所ノ所謂高壓高壓ノ電氣化學其ノ他サウ云フ技術ヲ修得シタ人間デ、其ノ專門以外ノ工場ヘ行ツテ居ル者ヲ取返シテ來ルト云フ方法ハ出來ルノカ出來ヌノカト云フ問題デアリマス

○東政府委員 今日私共ノ見テ居ル所デハ不必要ナ方面ニサウ云フ技術者ガ行ツテ居ルトハ考ヘテ居リマセヌ、ソレノ多少ノ程度ノ違ヒハアリマシテモ、化學工業關係ノ技術者ハ極メテ必要ナ方面ニ配給サレテ居ルノデアリマス、併シナガラ今後此ノ人造石油製造事業ノ計畫ヲ進メテ行キマス上ニ、ドウシテモ技術者ガ足ラス、斯ウ云フ方面カラ斯ウ云フ者ヲ持つテ來ナケレバヤレス、又斯ウ云フ者ガ持つテ來レルト云フ見込ガ立チマセバ、其ノ際ニハ無論ソレニ應ジテ適當ナ措置ヲ執ラナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○長谷委員 ソレデハ大キナ見解ノ相違デアリマシテ、專門ノ技術家ノ連中ガ、專門以外ノ仕事ニ携ツテ居ル者ガ澤山居リマス、ソレハ私ハ能ク承知致シテ居リマス、ソレヲイザト云フ時ニハ徵用セラレルト云フ風ナコトデアラバ私達ハソレヲ諒ト致シマス、併シ私達ノ望ムハサウデヤナイ、ココ一年ト云フ問題、今ノ問題ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、ナニモ石鹼ノ會社ヘ電氣化學ノ人間ヲヤツテ置ク必要ハナイノデアリマス、ナニモ砂糖會社ヘ電氣化學ノ人間ヲヤツテ置ク必要ハナイノデアリマス、ダカラ幾ラデモアリマス、サウ云フ問題ヲ申上ゲテ居ルノデハナイノデアリマス、私達ハ今日ノ技術ヲ最高ニ使フ所ノ人ノ問題ヲ今申上ゲテ居ルノデアリマシテ、其ノ人ノ問題ヲ要ラス所ヘ持つテ居ル人間ニ對シテ、御話ヲナスツテコチラノ方ヘ御使ヒニナツタラドウカト云フ希望ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、ソレガイザト云フ場合ニ徵用サレルト云フコトハ、是ハ當然過ギル程當然ナコトナノデアリマス

ソレカラ次ニ御尋ネヲ申上ゲタイノハ、今御説明ニナリマシタ學校ヲ出タ者ヲ何處ノ會社ヘ何人、何處ノ會社ヘ何人ト云フ風ナ數字の割當ヲナサルト云フコトノ是非デアリマス、是ガ非常ニ能力ヲ低下スル

根本ノ原因ニナツテ居ル、人が足りナイ、足リナイカラコソ私達ハ最高重點主義ヲ以テ行カナレバナラス、ソレヲ五人欲シイ所ヘ三人ヤル、十人欲シイ所ヘ七人ヤル、モウ二人居ツテ呉レバ「フル」ニ仕事が出来ル、モウ二人居ツテ呉レバ「フル」ニ仕事が出来ル、ソレヲ最モ公平ナル重點主義デ人物ノ配置ヲヤラレルト云フコトニナツテ居ルカラシテ、此處ニモ缺陷ガアル、私達ハ一杯ノ釜ヲ炊イテ、炊イタ釜カラ出テ來タ飯ヲ食ツテ、更ニ次ノ人達ガ活躍スルヤウニシテ行カナレバ駄目デア、所謂人物ノ點ニ於テモ公平ナル分配ト云フ風ナコトハ、是ハ一ツ改メテ貰フ所ノ必要ガアリハセヌカト存ジマス、ソレハ非常ニ公平ナ御氣持デスカラ、當局ノ御立場ト云フモノハ私達能ク分リマス、何處ノ會社モ欲シイコトハ當リ前デア、ダカラ歸スル所ハヤハリ方式通りニ、人數モ八人ナラハ八シカヤラナイ、斯ウ云フコトニナルヨリ外ナイ、併シソレハ確カニ一ハ知ツテ居ル、併シ第二番ノ第二ノ問題ト云フ風ナモノガ結果ガ惡イノデアリマス、國家ト云フ立場カラ見タラバ、ヤハリ十人欲シイナト思フ會社ニ對シテ十人ヤラナレバ駄目デアリマス、其ノ爲ニ仕事ガオヂヤンニナル、前ノ資材ト同ジデアリマス、是ハ私達ノ氣持トシテ申上ゲタノデアリマスルガ、ドウカ今後公平ナル重點主義ハ廢メテ貫ヒタイノデアリマス、ソレハ重點主義デヤナイ、重點ト云フノハ満足ニ一ツノ人間ヲ育テ上ゲル所ニ重點ガアル、ダカラ技術者ガ足リナカツタラ、一人ヲ泣カシテ置イテモ宜イカラ、片方ダケヲ先ヅ腹ヲ膨マセテヤルダケノ人事ノ差配ガ御必要デヤナイカト

存ジマス

○東政府委員 技術者ノ割當ニ付キマシテ、一律ニ公平ニ割當テテ居ルト云フヤウナコトハゴザイマセヌ、是ハ長谷サシノ御意見ノ通り、重點主義ニ從ヒマシテ、十人欲シイト云フ所ニ一人モヤラヌ場合モアリマスシ、又八人ヤル場合モアリマス譯デ、十人欲シイト云フ所ニ十人必ズヤレルカト云フト、ソレハサウ行カヌ場合ガ多イト思ヒマサガ、決シテ十人欲シイト云ツタ所ニハ一律ニ三人ナラ三人ヅツヤルト云フヤウナ割當ハ致シテ居リマセヌ、私共重點主義ト云フコトハ、公平ナル重點主義ト云フコトガドウ云フコトヲ意味スルカ分リマセヌケレドモ、重點主義ハ即チ重點主義デアリマス、最モ必要ナ所ヘ重點ヲ置イテ、資材モ技術者モ配給スルト云フコトガ即チ重點主義デアリマス、其ノ精神ニ從ツテ總テノ割當ヲ致シテ居ルト御承知ヲ願ヒタイト存ジマス

○長谷委員 今ノ御説明デ能ク分リマシタガ、サウ云フ最高度ノ御氣持ヲ持ツテ居ラレルナラバ、其ノ十要求シタ所ニ八人シカ居ラヌト云フ風ナ現狀ヲ基礎トシテ御考ヘヨナサイマシタ時ニ、出來ルコトナラバ、アトノ二人ヲ——今私達ガ假定條件トシテ申上ゲマスガ、一般化學ノ方ヘ就イテ居ル人デ、ソレガ或ル程度マデ生活必需品工場デアルカモ知レマセヌガ、サウ云フ所ニ働イテ居ル人間ヲ「ピックアップ」シテ、此ノ二人ヲ埋メルト云フ風ナコトハ出來マセヌカ、ソコマデ心持ヲホドイテ、會社ノ連中ニ話ヲシテ、熱意ヲ以テ今日ノ國家ノ油化工業ニ協力サセルヤウナ方法ヲ執ツテ戴キタイト思フノデスガ、ソレハ出來マセヌモノデスカ

○東政府委員 先程石鹼工場トカ製糖工場ト云フヤウナコトヲ例ニ舉ゲテ御話ニナリマシタガ、是等ノ所ニ本當ニ餘ツタ技術者ガ居リマスナラバ、サウ云フモノヲ必要ナ方面ニ廻ハスト云フコトハ、是ハ當然ノコトデアルト存ジマス、併シナガラ是等モ總テ生活必需品デアリマシテ、共ニ生産ヲ増加シテ行カナレバナラス今日ノ實情デアリマスノデ、其ノ方面ニ必要ナモノヲ、之ヲ何デモ構ハズニ引張ツテ來ルト云フコトハ、是ハ中々困難デアラウト思ヒマス、御説ノ通り若シ本當ニ必要ナ人間ガ此ノ方面ニ居リマスナラバ、是ハ非常ニ私共結構ナコトデアルカラ、サウ云フ者ハ早速話ヲシテ、サウ云フ必要ナ方面ニ廻シテ貰ヒタイト考ヘテ居リマス、併シナガラ私共今マデ承知シテ居ル所デハ、サウ云フ人ハソシナニアルヤウニ承知シテ居リマセヌ

○長谷委員 私東サシニ私ノ意見ヲ申上ゲテ恐縮デスガ、サウデヤナイノデアリマス、今第何番目ニナルカ知リマセヌガ、液體燃料獲得ノ爲ニ、油化工業ト云フ風ナモノガ重點デアツテ、更ニ天然石油ノ重點ト、此ノ二ツガ對立シテ、日本ノ石油對策ヲ作リタイ、所謂液體燃料ノ對策ヲ作リタイ、斯ウ云フ思召デアルカラ、ソレデハ油化工業ニ對シテ日本ハ死ンデモヤラナレバナラス、斯ウ云フ死力ヲ盡シテモヤラナレバナラヌト云フ風ナ氣持ヲ以テ私達ハ申上ゲテ居ルノデ、サウナツテ來ルト、今私ガ尋ネタ其ノ特定ノ會社ナドト云フ風ナモノノ技術者ヲ——是ハ誰デモ出來ルノデスヨ、普通ノ中等學校程度ノ工業技術者デ宜イノデス、何デモナイ、ソコニチャント居ルノデス、所ガソレヲ今ノ油化工業方面ニ引張ツテ行

ク、ソレハ一ツ燒ヲ入レルト、チャント又元ニ戻ル、ソレヲ言フノデス、私ノ言フノハ、要ラス者ト云ツテモ、皆何處ダツテ要ルト稱スルノデアリマス、又技術者ヲ持ツコトガ、劣惡會社ノ生キ延ビントスル所ノ一ツノ資格ニナルノデアリマス、ソレヲ整理シナレバナラス、ソシナコトハ問題外ナノデアリマシテ、私ノ言フノハサウデハナイ、假ニ他ノ會社ニ居リマシテモ、其ノ會社ニ其ノ人が必要デナイト云フコトハ、私達ガ認定出來ル者ガ澤山居リマス、誰ニデモソシナコトハヤレルノデスヨ、何デモナイ、ソレヲ攪リヲ戻シテ、今日ノ國策ノ第二線カ第三線カ知リマセヌガ、日本ノ液體工業ヘ持ツテ行ツテハドウカ、斯ウ云フ風ナコトヲ申上ゲタノデアリマス、本音ヲ言フト、人が足ラナイノデスガ、其ノ點如何デスカ

○東政府委員 若シ御説ノヤウニ本當ニ優秀ナ技術ヲ持チナガラ、必要デナイ方面ニ働イテ居ル技術者ガアレバ、之ヲ必要ナ方面ニ廻ハスヤウニスルコトハ、是ハ當然考慮シナレバナラヌト考ヘマス

○長谷委員 長官モ私ノ申上ゲタ所ヲ一ツ御研究ヲ願ヒタイ、私モ間違ツテ居ルカモ知レマセヌ、其ノ要ラス人間ト云フ所ノ限度デアリマスガ、私ノ言フノハ、其ノ會社カラ言フト要ル人間ナノダ、會社カラ言フト要ル人間ダケレドモ、國家カラ見ルト、要ラス人間ナノダ、斯ウ見ルノデアリマス

〔委員長退席、鶴委員長代理着席〕
ソコノ相違デス、決シテ要ライナイ人間ト云フモノハアリマセヌ、其ノ會社カラ見ルト皆大切ナ人間デアリマス、ソレヲ拉致シテ來テ國家ノ重點ニ打込シテ行ク、ソレマ

デノ熱意ヲ以テヤラナケレバ、人ノ問題ハ中々解決セスト私ハ見テ居ルノデアリマス、是ハ私ノ希望トシテ申上ゲテ置キマス——只今一寸外カラノ交渉ガアリマシタカラ、一應是デ私ハ打切ツテ置キマス

○川俣委員 第一ニ御尋ネシタイノデスガ、帝國燃料興業株式會社法中改正法律案、此ノ條文ノ改正サレマシタ要點ト申シマスカ、心構ヘト申シマスカ、第十條第二項ヲ改正セラレマスルニ至リマシタ事情ト、其ノ必要ヲ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、若シ前ニ御答辯ガアリマシタラ、簡單デ宜シウゴザイマスカラ、一應承リタイト思ヒマス

○東政府委員 現在ノ帝國燃料興業株式會社法ノ第十條第二項ニハ、御承知ノ通り此ノ會社ノ理事ヲ、株主ノ中カラ株主總會ニ於テ二倍ノ候補者ヲ選舉シテ、政府ガ其ノ中カラ之ヲ命ズルト云フ規定ニナツテ居ルノデアリマスガ、一方此ノ株主中ヨリト云フコトハ、普通商法ニ於キマシテ、會社ノ役員、重役ハ總テ株主中カラ選ブコトニナツテ居リマシタノヲ、商法ガ改正ニナリマシテ、株主デナクテモ會社ノ役員ニナレルコトニナリマシタノデ、ソレトヤハリ調子ヲ合セル方ガ宜シカラウト云フ考ヘガ一ツ、ソレカラ二倍ノ候補者ヲ選舉シテ、其ノ中カラ政府ガ命ズルト云フヤウナコトモ、實際ハ形式ノナコトデアリマシテ、株主總會ニ於テ必要ナダケノ候補者ヲ選ンデ、之ヲ詮議シテ政府ガ認可スルト云フ方法ヲ採ツタ方ガ、實情ニモ適スルシ、其ノ方ガ妥當ダラウト云フ考ヘカラ、サウ云フ風ニ改正ヲ致スコトニ致シタノデアリマス

○川俣委員 一應ノ御説明デアリマスガ、ソレハ燃料局ノ御考ヘデスカ、或ハ商工省

ノ御考ヘデスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○東政府委員 是ハ燃料局モ左様ニ考ヘテ居リマスシ、商工省全體トシテモ左様ニ考ヘテ居リマス

○川俣委員 ソレハ斯ウ改正シナケレバナラス必要性ヲモツト御認メニナツテノ御改正ナノデアリマスカ、ソレトモ只今御答辯ノアリマシタヤウナ程度ノ必要カラナノデアリマスカ

○東政府委員 實ヲ申シマス、是非斯ウ改正シナケレバナラス云フヤウナ必要ハ、此ノ條文ニ關スル限リゴザイマセス、唯商法ト調子ヲ合セテ、又實情ニ即スルヤウニ改正シタ方ガ適當デアラウ、斯ウ云フ考ヘデアリマス

○川俣委員 私ガ先程商工省ノ御考ヘデアルカ、或ハ燃料局ノ御考ヘデアルカト云フコトヲ御尋ネシタノハ、商工省ニ關係シテ居リマス國策會社ノ點デ、他ノ國策會社ニ於テ斯ウ云フ條文ガ多イノデアリマス、帝國燃料ダケ改正シナケレバナラス理由ハ私ニハ不明デアリマス、日本產金振興株式會社及ビ帝國鑛業開發株式會社モ同様ナ條文ニナツテ居ルト考ヘマス、然ラバ商工省トシテ改正サレナラバ、全體ニ互ツテ改正サレナケレバナラスノデハナカラウカト考ヘマスノデ御尋ネシタノデアリマス、此ノ點ニ付テハ大臣カラ改メテ御答辯願ヒタイト思ヒマスカラ、其ノ旨御傳ヘ願ヒタイノデアリマス、此處ニ帝國鑛業開發會社ニ關係シテ居ラレマス鑛業局長モ來テ居ラレマスカラ、其ノ方面カラ改正スル必要ガアルカナイカ、此ノ點ヲ御尋ネ致シマス

○鈴木(英)政府委員 只今ノ御質問ノ點

ハ、鑛產局ト致シマシテハ實ハ初メテ達着シタ問題デアリマシテ、アトカラ十分研究シテ御答ヘ致シマス

○川俣委員 ソレハラカシイト思フ、東サシノ御答辯ニ依ルト、商工省トシテ方針ヲ決メタト仰セラレ以上、帝國鑛業開發會社及ビ日本產金振興株式會社ハ同ジ商工大臣ノ監督ノ下ニアル筈デアリマシテ、之ヲ今内部ニ於テ初メテダト云フヤウナコトヲ言ハレルヤウデハ、商工省全體トシテノ意見デナイヤウニ考ヘマスガ、此ノ點ヲ東サシニ御伺ヒ致シマス

○東政府委員 商工大臣カラ答辯セヨト云フ御話デアリマシタガ、一應私カラ御答ヘ申上ゲマス、先程申シマシタヤウニ、此ノ條文ノ改正ハ單ニ商法ノ改正ニ伴ツテ、是ト調子ヲ合ハセル爲ト、モウ一ツハ事實上二倍ノ候補者ヲ銓衡シテ、其ノ中カラ政府ガ選ブト云フヤウナコトデナクテモ、株主總會ニ於テ選任シタ者ヲ政府ガ認可スルト云フコトデ、事實差支ヘナイデハナイカト云フヤウナコトデ、偶第十三條ノ改正ガアリマシタノデ、其ノ序ト云ツテハ語弊ガアリマスガ、先ヅ心持ハ序ニサウ云フ風ニ改正シヨウト云フ譯デアリマス、此ノ條文ダケ改正スル積リハ實ハナカツタノデアリマス、隨テ他ノ方面ニ同ジヤウナ條文ガアリ(株主中ヨリ)ト云フ文句ガアリマスノハ、從來商法ガサウ云フコトニナツテ居リマスノデ、商法ト同ジヤウニサウ云フ規定ヲ入レテアルノデスガ、今日ニナツテ見レバ、適當ノ機會ニ是モ改正スルノガ妥當デアラウト存ジマス、恐ラク鑛產局ニ於テモ、他ノ實質的改正ノ必要ガアリマシテ改正スル場合ニハ、恐ラク同ジヤウナコトニ改正サ

レルダラウト私ハ考ヘテ居リマス

○川俣委員 私ハ他ニ改正ノ要點ガアツタ爲ニ、十三條ノ第十條第二項ガ便乘ノ改正サレタモノトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、ナゼカト申シマス、此ノ點ニ付キマシテハ前々カラ議會ニ於キマシテモ問題ノ生ジタ點デアリマス、又實際ノ國策會社ノ運營ニ當リマシテ問題ニナル點ハヤハリ此ノ點ダト考ヘルノデアリマス、私共ノ見解カラスレバ、今日ノ國策會社ノ運行運營ガ巧ク行カナイト云フ非難ノ起ル原因ノ中ニハ、此ノ一點ガ相當強イ意味デ考ヘラレナケレバナラスノデハナカラウカト私ハ想像致シテ居ルノデアリマス、ト云フノハ、國策會社ガ色々非難ノ的ニナツテ居ルガ、私ハ其ノ中ノ一番重要ナ點ハ、理事ノ政府ノ任命ト云ヒマセウカ、或ハ株主總會ニ於ケル選任ニ致シマシテモ、今東長官ノ御話ノヤウニ、形式的ニハ表面ハ株主ノ意見ヲ尊重シテ二倍ノ候補者ヲ出シテ、ソレヲ政府ガ任命スル、所謂株主ヲ非常ニ尊重スルノダト云フ條文ノ建前ハ採ツテ居リマシテモ、實際ハ政府ノ意向ニ基イテ理事或ハ重役ヲ任命致シテ居ルノデアリマス、隨テ商工當局カラ言ヘバ、ドチラデモ同ジダト云フコトニナルカモ知レマセスガ、實際ハ違ツテ居ルノガ本質ナノデス、ソレヲ商工省ハ同ジク考ヘテ理事ヲ推薦サレテ居ル、ソコニ問題ガアルノデハナイカト思ヒマス、商工省ガ選ンデ吳レルノデアアルカラ、ドチラデモ同ジコトデアリナイカト言ハレルガ、ソレハ形式デ、實際ノ内容ハ燃料局ニ關係シテ居ルモノハ、燃料局ノ關係者ガ色々運動スルナリ、或ハ推薦スルナリシテ、總會ニ持出シテ、ソレヲ理事或ハ重役ニ選ビ出

サセルト云フ考ヘ方トスレバ、ソレハドチラデアツテモ同ジ結果ニナルコトハ長官ノ御話ノ通りダト思フ、所ガ是ガ問題ダト思フ、私ハ具體的ノ例ヲ以テ申上ゲマスケレドモ、國策會社ノ運行ノ今マデ一番マヅイ點ハ、一ツノ國策會社ガ出來ル度ニ、今年ノ議會ニ於テモ問題ニナツタヤウニ、各官廳カラ天降リ的ニ入ルコトガイカスト云フ議會ノ空氣モアルケレドモ、私ハ必ズシモサウ思ヒマセヌガ、ソレヨリ問題ニナルノハ、一ツ國策會社ガ生レル度毎ニ、直グ大藏省、或ハ農林省、商工省ト云フヤウニ、此ノ會社ノ設立ニ當ツテ三官廳ガ關係致シマス、三官廳カラ理事或ハ重役ヲ各、押込ムト云フヤウナ傾キガアルノデアリマス、押込ムト云フト言葉ガ惡イカモ知レマセヌガ、モツト言フナラバ、自分達ノ關係者ヲ之ニ入レル、所謂國策會社ニ是等ノ自分達ノ關係者ヲ入レヨウトスル所ノ傾向ガアルノデアリマス、其ノ爲ニ大藏省或ハ商工省、農林省カラ入ツタ者ガ意見ノ相違ヲ來シテ、昔居ツタ古巢ノ大藏省、商工省或ハ農林省ヲ「バック」ニシテ、統一アルベキ會社ノ運用方針ガ不統一ニナツテ居ル所ノ幾多ノ例ガアルガ、是ガ國策會社ヲシテ最モ活動ヲ、不活動ナラシメテ居ル所ノ原因デハナカラウカト思フ、例ヘバ日本產金振興株式會社ノ例ヲ以テ申セバ、一番具體的ニ御分リニナラウト思フガ、私一々例ヲ餘リ露骨ニ申上ゲ兼ネルト思ヒマスガ、申上ゲテモ宜シケレバ申上ゲマスガ、今マデ大藏省カラモ商工省カラモ大分入ツテ居ル、サウシテ重役會ノ内容ヲ聞イテ見ルト、恐ラク普通ノ會社ナラ社長ノ專斷、或ハ社長ノ意見ニ依ツテ纏マルノデアリマセウケレドモ、大藏省ト一遍相談

シナケレバナラス、或ハ商工省ニ相談シナケレバ重役會或ハ理事會ノ意見ガ纏マラナイト云フコトヲ展、聞イテ居ルノデアリマス、之ヲ更ニ具體的ニ言フト、商工省關係カラ入ツタ、或ハ推薦サレテ入ツテ來タ、其ノ系統ニ關係ノアル地質學者ノ方カラ言フト、此ノ鑛山ハ調査ノ結果相當ノ價值ガアルト云フ判斷ヲスル、所デ大藏省カラ來タ金融關係ノ方カラ申スト、ソナナ調査ヲシテモ山ノコトハ分ルモノデハナイ、危クテ金ハ貸セナイト云フヤウナコトデ、金融課ト地質課ト喧嘩ヲシテ居ル、ソレヲモツト具體的ニ言フト、今日ノヤウニ日本產金振興株式會社ノ資金ガ焦付イテ、二進モ三進モ行カナイヤウナ狀態ニナツタ原因ノ一ツハソコニアルト思フ、日本產金振興株式會社ノ金ノ貸付方ハ、商工省即チ地質學ノ方面カラ言フト、或ハ鑛山經營ノ方カラ言フト、山ノ良否ニ依ツテ適當ニ融資スベキデアル、或ハ買山スベキデアル、開發スベキデアルト云フコトデ、調査書類ガ出來上リ、之ヲ金融方面ヘ持ツテ行クト、山ハ良イカ惡イカ分ラヌガ、サウ云フ貧弱ナ鑛業權者ニ對シテハ金ヲ貸スコトハ出來ヌ、資産ガナケレバ金ヲ貸スコトハ出來ヌト云フコトデ、興信所カ何カニ依頼シテ、興信所ノ財產證明ト税金ノ證明トヲ持ツテ來テ、其ノ上ニ保證人ヲ付ケテ、財産ヲ擔保ニシテ出ス所ノ公正ヲ踏ンデ來ナケレバ金ハ貸サナイ、ソレハ安全ナ方法トシテ決シテ惡クハナイ、尤モナ方法ダト思フ、其ノ安全ナ方法ヲ執ツタラドウナルカト云フト、日本產金振興株式會社デハ恐ラク資産ノナイ貧弱ナ鑛業權者ニ對シテハ金ヲ貸シテ居ナイデセウ、資産アル者ニ貸シテ居ルデセウガ、實際ハ三

年四年經ツテ其ノ山ガ惡イト云フコトニナツテモ、鑛山ニ金ヲ貸シタノデアルカラ、マサカ整理會社ノヤウニ資産ヲ處分シ、或ハ保證人ヲ處分シテ貸シタ金ヲ回收スルト云フ譯ニモ行キマスマイ、已ムヲ得ズヤハリ山ヲ取ツテ居ル、其ノ山ノ値打デ貸シタノデナクシテ、其ノ人ノ持ツテ居ル資産デ貸シタノデアルカラ、惡イ山ヲ受取ラナケレバナラヌ場合ガ起キテ來ルノハ當然ナコトナンドス、是ハ私ハ最モ卑近ナ例ヲ取ル、北海道廳ノ屬デアツタ人ガ持ツテ居ツタ金山ガアル、是デ一万五千圓貸シテ呉レト言ツタ、所ガ斷ラレタ、斷ラレテ十箇月經ツテ、三菱鑛業デ二十八萬圓カデ之ヲ買取ツタ、ソレハ五年モ六年モ經ツテカラ二十八萬圓ニナルコトハ有リ得ルデセウガ、日本產金デ調ベタ時ニハ——是ハドノ位ニ調ベタカ其ノ内容ハ知リマセヌケレドモ、兎ニ角一万五千圓バカリノ金融ヲ斷ラレテ居ル、ソレハ資産ガナイト云フコトデ斷ラレタ、山ヲ見テ斷ツタノデヤナイ、山ヲ見テ斷ツタトスルナラバ、是ハ日本產金振興株式會社ノ技術者ガ無能ダト云フコトニナル、二十八萬圓トハ付ケナクテモ、少クモ五萬圓ヤ十萬圓位ノ見當ハ付ケナケレバナラス、ソレヲ一万五千圓モ貸セナイト云フコトニナルト、是ハ技術ニ於テハ「ゼロ」ダト言ハナケレバナラス、恐ラク三菱鑛業デ買ツタノデスカラ、サウ出鱈目ナ山デハナイト思フ、私ハ其ノ山ノ内容ハ知リマセヌケレドモ、ソレヲ一万五千圓モ貸セナイト云フノハ、持ツテ居ル鑛業權者ガ資産ガナイカラ貸セナイ、資産ガアレバ貸ス、資産ガアツテ貸スノナラバソレハ鑛業開發デモナケレバ產金振興デモ何デモナイ、銀行デアリ、整理會社ナンドス、

資産家ニ金ヲ貸ス、其ノ資産ヲ擔保ニシテ貸スナラバ、銀行デ宜イ、大藏省カラ來ルト、何デモ銀行ヲ經營スルヤウナ積リデ經營ヤル、商工省カラ來タ人ハ、地質ガ良イカラ貸シテ呉レト言ツテモ、イヤ、ソレハ危イ、斯ウ云フコトデアルカラ、日本產金振興會社ノ資金ガ焦付イテシマシテ、取ツタ山ト云フモノハドレ一ツ活動スル山ハナイ、今新シク社長ガ入ツテ、今度ヤリ直サウト云フノデアリマスケレドモ、重役ノ意見ガ皆違フ、帝國鑛業開發會社ニ付テノ内容モ申上ゲマスケレドモ、重役ノ間ニ於テ喧嘩ヲシテ居ル、古巢ヲ「バック」ニシテ仕事ヲサセヌ、モツト良イ言葉デ言フナラバ、オ互ヒニ監督シ合ツテ、大藏省カラ來タノダカラ金融ノ方ハ俺ガ監督スル、技術ノ方ハ商工省カラ來タノダカラ俺ガ監督スル、農林省ノ方ハ何ダト云フヤウナコトデ、オ互ヒニ牽制シ合ツテ仕事ヲ出來ナクスルノガ國策會社ダト云フヤウナ結果ヲ來シテ居ル、ソレガ一番國策會社ノ缺陷ニナツテ居ルノデヤナイカ、官吏ノ古手ガ入ルノガ善イ惡イト言フノデハナクシテ、寧ロ古巢ヲ「バック」ニシテ、理事會ニ於テオ互ヒニ牽制シ合ヒ、或ハ監督シ合フ、良イ言葉デ言フナラバ監督スルノデセウガ、オ互ヒニ牽制シ合ツテ仕事ノ能率ヲ下ゲテ居ルト云フ所ニアルノデヤナカラウカト思フ、此ノ點ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイ

○東政府委員 只今ノ川俣サンノ御意見ハ一ツ私共今後會社ヲ監督スル上ニ參考ニシタイト思ヒマス、サウ云フ事實ガアルトハ私共ハ思ツテ居リマセヌ、尙ホ先程金山ヲ持ツテ居ツタ者ニ對シテ金ヲ貸シタ貸サヌノ御話ガゴザイマシタガ、是ハ川俣サンノ

御説ノ通り、日本産金振興會社ハ金貸デナ
イノデアリマスカラ、唯山ガ擔保力ガアル
カラ貸スト云フ譯ニハ行カヌダラウト思フ、
其ノ人ニ本當ニ其ノ金山ヲ開發スル技術其
ノ他總テノ能力ガアルカドウカニ依ツテ金
融ヲ或ハシ、或ハシナイダラウト思フ、私
能クハ存ジマセヌガ、恐ラクサウ云フ場合
ニ若シ貸サナカツタコトガアルナラバ相當
ノ理由ガアツテダラウト思ヒマス

○川俣委員 サウ云フ認識デ會社ヲ監督ス
ルナラバ、此ノ帝國燃料興業株式會社モ亦
成績不良ニ陥ルダラウト思フ、モツト今度
ハ帝國礦業開發會社ノ方カラ申上ゲマス、
ココノ重役デアル所ノ勝部サシハ商工省カ
ラ入ツテ來タ、難波サシハ商工省、玉井サ
シハ大藏省、ソレカラ乗杉サシハ商工省、デ
スカスウ云フヤウニ官吏ハ天降リシナイト
言ヒマスケレドモ、重役ノ前身ハ皆官吏デ
アル、官吏デカラ惡イト言フノデナイ、惡
イノデナイケレドモ、大藏省カラ玉井サ
シガ一人入ツテ居ルト云フコトデ重役會ガ
纏ラナイコトガ度々アルノデス、昔ノ古巢
ノ大藏省ニ行ツテ見ナケレバ分ラヌ、サウ
云フコトヲ言フナラバ大藏省ノ方カラ金ヲ
出サセヌ、金融ハ止メルゾト云フ文句ヲ言
ハレテ重役會ガ纏ラナイデ散會シタ、社長
ノ意見ニ依ツテ纏メル譯ニ行カナイノデス
而シテ大抵ノ國策會社ノコトハ私ハ能ク知
ラナイノデアリマスケレドモ、日本産金ヤ
礦業開發會社ヲ聽クト、社長ハ政府ガ任
命シテ居ルト云フノニ、社長ニ一切ノ權限
ガアルカト云フトサウデヤナイ、重役ノ多
數決ダト云フ話デアル、礦業開發モ日本産
金モ多數決ダ、日本産金ハ今度今井サシガ
入ツテ變ツタヤウニモ聞キマスケレドモ、

礦業開發ノ方ハ多數決ダト云フ、社長ヲ信
頼シテ政府ガ命ジテ置イテ、重役全部ノ多
數決ダト云フコトニナツテ居ツテ、ソレデ
成績ヲ擧ゲヨウトシテモ上ル答ハナイト思
フ、今ノハ一ツノ金山ノ例デアリマスカ、
礦業開發デアルト同時ニ産金ノ開發デセウ、
資産ガナイモノハ開發出來ナイト云フ馬鹿
ナ話ハナイ、資産ノナイモノニ金ヲ貸シテ
開發サシタルト云フノガ此ノ會社ノ目的
デセウ、資産ガアレバ會社ニ金ヲ借りナイ
デモ開發出來ル答デアル、三井、三菱ニ金
ヲ貸シテヤツテ礦業開發スルト云フコト
ハ考ヘナイデモ宜シイガ、資産ガナクテモ
開發スルト云フ熱心サガアレバ、ソレニ基
イテ指導監督シテ貸シテヤツタラ宜イ、一
萬圓ガ危イト思ツタラ三千圓、今月八百圓
或ハ五百圓デモ宜イ、來月ニナツタラ千圓
デモ宜イ、サウシテ指導シテ行ク所ニ私ハ
礦業開發ナリ産金振興ノ目的ガアルノデ、
別ニ金ヲ貸スト云フコトガ目的デアリマス
ルナラバ、コンナ國策會社ヲ作ル必要ガナ
イ、必要ガナイノニ作ツタトスレバ、官吏ガ
天降ル爲ニ、自分ノ職場ヲ得ル爲ニ作ツタ
ト云フ結果ニナツテシマフ、私ハサウハ思
ハナイケレドモ、サウ云フ結果ニナツテシ
マフ、此ノ點ニ付テモウ一度御尋ネシタイ

○東政府委員 只今産金振興會社及ビ礦業
開發會社ヲ例ニ取ツテ御話ニナリマシタケ
レトモ、帝國燃料興業會社ニ付キマシテモ
其ノ運用ノ方針ニ付テハ同様デアルト思ヒ
マスノデ、私御答ヘ致シマスガ、私先程申シ
マシタノハ、資産ガナイ者ニ貸シテハイカ
スト云フコトヲ申シテ居リマセヌ、假令如
何ニ資産ガアリマシテモ、其ノ計畫ガ妥當
デアリ、之ヲ援ケテ其ノ山ヲ開發サセルコ

トガ國家ノ爲ニナルト此ノ會社ガ認メナケ
レバ金融ヲシナイノハ當然デアル、隨テ帝
國燃料興業株式會社ガ人造石油ニ付テ投資
ヲシ、之ヲ援ケテ行キマス場合ニモ、ドン
ナ金持ガ計畫致シマシテモ、計畫自體ガ妥
當デナケレバ援ケマセヌ、サウ云フコトヲ
私ハ先程申上ゲタ次第デアリマス

○川俣委員 サウ云フ意味デアリマスレバ
諒承スルノデス、所ガモウ少シ詳シク御話
シマス、一體公正證書ヲ拵ヘ財産ヲ擔保
ニ入レナケレバナラヌト云フナラ、財産ニ
貸シタノカ礦業開發或ハ産金ニ貸シタノカ
怪シマレルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テ
ハ礦產局長カラ御答辯ヲ願ヒタイ

○鈴木英二政府委員 礦發會社或ハ日本産
金會社ノ貸付問題ニ付テ御意見ガアツタノ
デアリマスガ、私共モサウ云フ會社ノ方ヘ
非常ニムツカシイコトヲ言ツテ居ツテ資金
ノ融通ニ困難ヲ來ス、サウ云フ御不滿ガ諸
所ニアルト云フコトハ耳ニハ致シテ居リマ
ス、ソレデ成ベクサウ云フコトノナイヤウ
ニ、會社トハ常ニ連絡ヲ取ツテ協調的ニ指
導シテ居ルノデアリマスガ、唯偶、サウ云フ
山ガ良イ山デアリナガラ、財産ガナイ爲ニ
貸セナイトカ云フ問題ガ具體的ニアツタト
致シマスルト、ソレハ恐ラク斯ウ云フヤウ
ナコトデアツタラウト想像致シマス、實際
ノ事情カラ言ヒマス、山ニ對シテ資金ヲ
申込デ來ル方ハ、多クハ財産ノ餘リナイ
人ガ多イノデアリマシテ、財産ガナイカラ
貸セナイト云フコトハ絕對ナイノデアリマ
スガ、今マデノ澤山ノ例ヲ見マス、少シ
金ヲ借りテモ、其ノ融通シテ貰ツタ金ヲ其
ノ計畫通りニ使ハナイトカ、或ハドウ云フ
風ニ使ツタカ分ラナイヤウナ部分ガ澤山ア

ルノデゴザイマス、ソレデ今マデノ豫想カ
ラ致シマス、今マデ貸シタ金ハ小額ノ金
ハ回收不能ニナルモノガ相當アルデアラウ
ト思ヒマス、ソレデサウ云フコトカラ見マ
シテ、會社デ之ヲ貸セルカ貸セヌカト云フ
コトヲ決定スル際ハ、假令山ガ良クデモ、
其ノ金ヲ此ノ人ハドウ云フヤウニ使フカト
云フコトヲ一應考慮シナケレバナラナイ、
其ノ人ノ信用狀態トカ或ハ經營ノ意思ガア
ルカナイカ、或ハ他ニ賣山スルコトバカリ
考ヘテ居ル者ガアリマスカラ、サウ云フヤ
ウナコトガアルカナイカト云フコトモ考慮
シナケレバナラヌノデアリマス、色々ナコ
トヲ考ヘマス、時ニ依ルト良イ山デアリ
ナガラ、人的信用ト云フヤウナコトデ駄目
ニナルコトモアルノデアリマス

〔鶴委員長代理退席、委員長着席〕
ソレカラ尙ホ融資ヲ拒絕スルト云フコト
ハ、是ハ會社カラ見マス、持ツテ來タ人
ト意見ノ相違ガ相當アルノデアリマシテ、
隨分山デモ開發會社、産金會社デハ騙サレ
ルコトモアルノデアリマスシ、相當慎重ニ
ヤラスト又困ル實例モ今マデノ所澤山アル
ノデアリマス、サウ云フヤウナ關係デ相當
慎重ニヤツテ居ルコトモ、會社ノ經營者ト
シテハ尤モダト云フ點ハ了解サレルノデア
リマスルガ、兎モ角非常ニヤカマシイコト
ヲ言ツテ困ルト云フコトハ、或ハサウ云フ
コトハ澤山噂ニ聞キマスカラ、或ル程度ア
ルカモ知レマセヌガ、今後サウ云フコトノ
ナイヤウニ、此ノ會社ノ目的ニ副フヤウニ
十分會社ニ對シテ今後注意シテ行キタイ
思ツテ居ル次第デアリマス

○川俣委員 モウ諄ク申シマセスケレドモ
ドウモ考ヘガ少シ違ツテ居ルト思ヒマス、

騙サレルカラ金ヲ貸サナイ、ソレハ騙サレタ例モアルト云フヤウナコトニナリマスルケレドモ、私ハソレハ騙サレタノデハナイト思フ、自分ノ技術ノ無能ガサウナツテ來ル、山ノ本質ヲ見テ貸スナラバ、ドンナ山デモ貸シテ宜イト云フコトニハ私ハナラナイト思フ、山自體ガ開發ノ値打ガアルカドウカ、是ガ主デナケレバナラス、開發ノ値打ノナイモノニ貸セト云フノデハナイ、ソレヲ本旨ニ置カナケレバナラス、所ガドウモ山ハ惡ルカウタト云フコトニナレバ、ソレハ人間ヲ見テ、言葉ヲ見テ貸シタカラ騙サレタコトニナルノデ、山自體ハ動カナイ、地質ナラバ自分ノ技術ガ無能ダツタト云フコトニナル、或ハ出張シタ所ノ技術員ガ會社ヲ騙シタコトニナルカモ知レマセヌガ、鑛業權者ガ會社ヲ騙シタコトニハ私ハナラナイト思フ、使ツテ居ル所ノ使用人ガ會社ヲ騙シタコトニナル、山自體ヲ見レバ宜イ、ソレハ人間デアリマスカラ萬一ツハ間違ヒモアリマセウ、問題ハソコデハナイ、モウ一ツハ人ガ惡ケレバ、其ノ人ガ誠意ヲ以テ鑛業ヲ開發スルカドウカ分ラナイカラ、山ガ良クデモ貸セナイト云フ御答辯ヲ、東長官カラモ鈴木サンカラモ承ツタノデアリマスガ、

是ハ私ハトシテ違ヒダト思フ、山自體ガ良ケレバ、會社自ラ之ヲ引取ツテ開發スルコトガ此ノ會社ノ使命デナケレバナラス、財産ヲ目當ニスルカラ、山ガ惡クテ、會社デ手ヲ着ケルコトガ出來ナイヤウナ貧弱ナ山ヲ皆買取ルコトニナル、サウデナクテ、經營者ニ能力ガナク、或ハ誠意ガナクテ開發スルコトガ出來ナイ、資金ヲ貸シテモソレヲ巧ク使ハヌト云フナラバ、山サヘ良ケレ

バ此ノ產金會社ナリ、鑛發會社ナリガ引取ツテ開發スレバ、其ノ目的ハ達セラレ、私ハサウ解釋スル、人ヲ見テ貸スカラサウ云フ結果ニナル、山ヲ見テ貸スナリ引取ツタナラバ、其ノ山ガ鑛業開發ノ手デ、或ハ產金ノ手デ立派ニ開發サルベキ筈デアル、產金モ振興サルベキ筈ノモノデアル、私ハサウ解釋シテ居ル、斯ウ云フ風ニ一ツ御考ニナラナケレバナラスト思ヒマス

ソレデ理事ノ點ニ付テモウ一ツ伺ヒマスケレドモ、前ノ株主中ヨリ二倍ノ候補者ヲ選舉スルト云フノハ、是ハ私ハ斯ウ思ツテ居ル、此ノ帝國鑛業開發會社ノヤウナ場合ニ於キマシテハ、是ハ株主ニ業者ガ大部分入ツテ居ラレル筈デアル、政府ノ持株ガ半分デアリマスガ、三井デアルトカ、三菱デアルトカ、住友デアルトカ、「ラサ」工業ト云フ、所謂鑛山會社ガ株ヲ持ツテ居ル筈デアリマス、此ノ株主中ヨリ二倍ノ候補者ヲ選舉スルト云フノハ、是ハサウ云フ方面ノ鑛業開發ニ付テ熱意ヲ持チ、而モ資金ヲ此ノ會社ニ注込マウトスル熱心ナ株主カラ、其ノ株主ノ資金ト同時ニ、其ノ持ツテ居ル所ノ能力、技術ヲモ用ヒタイト云フ所ニ、恐ラク株主總會ノ意見ヲ十分尊重シテ、其ノ二倍ノ候補者ヲ舉ゲテ、ソレト政府トノ提携調和ニ依ツテ理事ヲ選ビタイト云フノガ、私ハ法ノ目的デアルト同時ニ、其ノ條文ハサウ云フ意味カラ出來タモノダト思フ、天降リ的ニ理事ヲ任命スルト云フ點ヨリモ、是デ資金ノ統一サレタ方面及ビ業界ノ意向ヲモ大イニ尊重シヨウト云フ所ニ、株主總會ニ於テ二倍ノ候補者ヲ選舉スルト云フコトガ議會ニ於テモ問題ニナツテ加味サレテ行ツタノハ、私ハサウ云フ點ニアツタ

ト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ東長官如何ニ御考ヘニナリマスカ

○東政府委員 株主中ヨリト云フ字句ヲ取ツタノハ、先程御説明申シマシタヤウニ、商法ガ既ニサウナツテ居リマスノデ、商法ト同ジヤウニ此ノ字句ヲ取ルノデアリマス、此ノ字句ヲ取ツタカラト云ツテ株主中カラ選ブコトニ何等支障ナイノデアリマス、株主ガ株主總會デ選ブノデアリマスカラ、株主中カラ選ブコトガ適當デアレバ、必ズ株主中カラ選ブコトト思ヒマス、是ハ川俣サシモ實情ヲ御覽ニナレバ御分リノコトト思ヒマスガ、必ズシモ國策會社ニ限ラズ、今日ノ株式會社ガ株主デナイ者ヲ重役ニスル爲ニ、特ニ株ヲ持タスト云フコトハ從來ト雖モヤツテ居ツタノデアリマシテ、其ノ實情ヲ見テ商法モ改正ニナツタノデアリマスカラ、其ノ趣旨ニ合ハセタノデアリマス、尙ホ「二倍ノ候補者ヲ選舉シ政府其ノ中ヨリ之ヲ命ジ」ト云フノヲ、「株主總會ニ於テ之ヲ選任シ政府ノ認可ヲ受クルモノトシ」ト云フ風ニ變ヘタコトハ、私共ハ實ハ二倍ノ候補者ヲ選バシテ其ノ中カラ政府ガ任命スルト云フコトノ方ガ、寧ロ所謂官僚式ト申シマスカ、政府ノ干渉ガ餘計ニ入ル、ソレハイカヌカラ株主總會ニ於テ適當ナ者ヲ選任サセテ、政府ハ單ニ之ヲ認可スルト云フコトニ變ヘタ方ガ適當デアル、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○川俣委員 サウ云フ意味デアレバ私ハ此ノ改正ノ方ガ宜イト思ヒマス、此ノ改正ニ付テハ私ハ必ズシモ反對デハナイノデス、併シナガラ問題ニシテ居ルノハ其ノ點デハナイ、若シモ本當ニ此ノ會社ノコトヲ考ヘテ、其ノ株主ノ意見——私ハ必ズシモ株主ノ意

見ヲ尊重スルト云フコトニ付テモ、政府ノ意見ガ宜イカ、株主ノ意見ガ宜イカト云フコトニナルト、國策會社デアリマスカラ、時ニハ政策ノ方向ト株主ノ意向トガ相背馳スル場合ガ起キナイトハ限リマセヌ、サウ云フ時ニハ自ラ社長ガ責任ヲ負ツタ方ガ宜イ、政府ガ任命シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ方向ヲ睨ンデ、其ノ方向ノ下ニ其ノ會社ヲ指導シテ行クコトガ出來ナイヤウナ社長ハ是ハ政府ガ罷免シテ行ツタラ宜イト思フ、私ハ率直ニ言フナラバ、私共ノ言ハントスル目的ハ、日鐵ノヤウニ寧ロ平生サンニ全部委セルト云フヤウナコトデナケレバナラス、國策會社ノ重役會議ガ何時モ採メテ居ルト云フコトデハ、其ノ運行ガ旨ク行カナイデハナイカト云フノガ私ノ御尋ネスル主ナル點ナノデアリマス、此ノ條文ノ言葉デハナクシテ、社長ガ此ノ會社ヲ旨ク運營シテ行ケルヤウナ組織ヲ持タナケレバिकास、コチラカラ理事ヲ入レル、アチラカラモ理事ヲ入レルト云フヤウナ傾キデナク、例ヘバ燃料興業ノ爲ニハ燃料事業ヲ興スト云フ方面ニ向ツテノモノデナケレバナラス、サウ云フ風ニ寧ロ社長ノ專斷ヲ許スト言フカ、或ハ社長ノ十分ナル手腕ヲ許サヤウナ方向ヲ取ツテ行クナラバ、私ハ國策會社ト雖モ決シテ成績ガ不良ニナルモノデハナイト思フ、若シモ其ノ社長ガソレダケノ責任アル地位ニ就キナガラ、ソレダケノ手腕ヲ發揮出來ナケレバ、是ハ社長ヲ罷免シ、總裁ヲ罷免シテ行ツタラ宜イト思フ、ソコニ問題ガアル、社長ヲ任命シテ置キナガラ、ソレモ信用出來ナイヤウナ運營ノ仕方ニシテ置キマスナラバ、國策會社ノ運營ガ旨ク行カヌト思ヒマスノデ、其ノ點ヲ御

尋ネシタノデアリマスガ、燃料興業ニ於キマシテハ、ドウ云フ考ヘヲ以テ社長ヲ推薦サレル御豫定デアリマスカ、其ノ點ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○東政府委員 國策會社ノ社長ナリ總裁ナリノ選任、及ビ其ノ社長ナリ總裁ナリノ其ノ會社運用上ノ實力ト云フモノガ十分具ハツテ居ナケレバナラヌト云フコトニ付テノ川俣サンノ御意見ハ、全然御同感デゴザイマス、唯日鐵ト他ノ國策會社トフ非常ニ違フヤウニ只今御話ガゴザイマシタケレドモ、何等其ノ間ニ形式上ハ違ヒハナイモノト私共ハ考ヘテ居リマス

○川俣委員 形式上ハ違ハナイカモ知レナイガ、問題ハ形式デヤナイ、日鐵ノ平生サシガ此ノ前辭メラレテ新シク改組シタ理由ハ何處ニアツタノデアリマスカ、ナゼ改組シナケレバナラナカツタカト云フ點ニ付テ、如何ナル見解ヲ持ツテ居ラレマスカ

○東政府委員 國策會社ハ各、使命ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、隨テ又其ノ會社ニ依ツテドウ云フ人ガ社長ナリ總裁ナリニ適當デアアルカト云フコトハ違ツテ來ルノデアリマシテ、私共帝國燃料其ノ他現在燃料其ノ他現在燃料關係ノ國策會社ノ社長若シハ總裁ガ不適任ダトハ少シモ思ツテ居リマセヌ

○川俣委員 私人御尋ネシタノハ其ノ點デヤナイ、日鐵ト變リガナイ、斯ウ云フ御答辯デアリマシタケレドモ、形式ハ變ラヌカモ知レヌケレドモ、アノ平生サンガ總辭職ヲシテ、モウ一遍重役會ヲ改組シナケレバナラナカツタ點ヲ、如何ニ御考ヘニナツテ居ルカヲ御尋ネ致シタノデアリマス

○川島委員長 ソレハ燃料局長官ニ御聽キニナツテモ困ルデセウ、鐵鋼局長カ次官カ

大臣ニ聽カナケレバ……

○川俣委員 ソレデハ其ノ點ハ改メテ大臣ナリ次官ニ御尋ネシタイト思ヒマス、次ニハ鐵鋼局長ニ御尋ネシタイト思ヒマス、是ハ速記録カラ削除シナケレバナラヌ點ハ後、委員長カラ削除セラレタイト思ヒマスガ、鐵鋼局長ノ輸入ガ止ツテ參リマシタシ、銅ノ輸入モ非常ニ不圓滑ニナツテ來テ居ルノデアリマシテ、銅產額ト云フモノニ付テハ、過去ノ日本ノ歴史ハ支那ニマデ輸出ヲ致シタノデアリマシテ、日本ハ產銅國ト致シマシテ、嘗テハ相當ナル地位ヲ占メテ居ツタ、然ルニ最近ノ國際情勢カラ見マシテ、又國內情勢カラ見マシテ、產銅率ガ非常ニ惡クナツテ來テ居リマス、輸入ノ止リツツアル現狀ニ於テ、國內ノ產銅量ガ減ツテ參リマス、或ハ増加致シマシタ、需要ニ比例シタ増產ガ出來ナイト云フコトハ、是ハ軍需ノ上カラ非常ニ注意シナケレバナラヌ點デアリ、關心ヲ持タナケレバナラヌ點デアラウト考ヘルノデアリマス、此ノ増產ニ付テ如何ナル考ヘヲ持ツテ居ラレマスカ、其ノ點モ御尋ネシテ置キマス

○鈴木(英)政府委員 銅ノコトニ付キマシテハ、前カラ恐ラク「アメリカ」ガ斯ウ云フ態度ニ出ルダラウト云フコトハ豫想シテ居ツタノデアリマシテ、サウシテ相當準備ハ致シテ居ツタノデアリマス、國內ニモ或ル程度ノ保有「ストック」モ持ツテ居ルノデアリマス、勿論ソレダケデハ十分ハ考ヘテ居ラスノデアリマスガ、我が國ニハ幸ヒ銅鑛石ハ低品位ナラバ尙ホ相當存在シテ居ルト考ヘルノデアリマス、之ヲ如何ナル方法ヲ講ジテモ、更ニ増產サセナケレバナラヌト考ヘテ居ル次第デアリマス、勞力資材トカ、

或ハ此ノ採算問題等色々檢討中デアリマシテ、必ズ此ノ非常時局ノ需要ニ對シテ心配ノナイヤウニ、萬全ノ對策ヲ今講ジテ居ル次第デアリマス

○川俣委員 大體ノ御考ヘノ所ハ今承ツタノデアリマスガ、所ガ日本ノ鑛山界ト致シマシテ、產銅事業ヲ掌ツテ居ルモノガ日本ノ鑛業界ニ於ケル所ノ最モ優秀ナル鑛業會社デアリマス、所ガ是ガ所謂經營ノ目標ト致シテ居リマス所ノ銅ノ採算ガ合ハナクナツテ來タト云フコトデ、各鑛業會社ガ大分惱シデ居ルヤウニ聞キ及ンデ居ルノデアリマシテ、日本ノ一流ノ三菱鑛業ニ致シマシテモ、住友鑛業ニ致シマシテモ、或ハ古河鑛業ニ致シマシテモ、日本鑛業ニ致シマシテモ、或ハ株式會社藤田組ニ致シマシテモ、日本ノ產銅率ノ大半ヲ擔ツテ居リマスモ、是等ノ所謂產銅會社ガ何レモ赤字ノヤウニ聞キ及ンデ居ルノデアリマス、是ハ非常ニ憂慮スベキ事態デハナカラウカ、斯ウ私共ハ見テ居ルノデアリマス、會社ノ内容デアリマスカラ、一々此處デ私ハドノ會社ハドノ位ノ赤字デアラウト云フコトハ申上ゲマセヌケレドモ、此ノ產銅ノ外ニ、今局長ノ御述ベニナリマシタヤウニ、日本ニハ低品位ノ銅鑛石ハ決シテ不足デハナイノデアリマシテ、此ノ低品位ノ銅鑛石地上ニ掘出スコトニ依ツテ、日本ノ產銅率ヲ上ゲルコトガ出來ルト云フコトハ、是ハ既ニ定評ノアル所デアリマス、所ガ私ノ調べル所ニ依リマスレバ、内地ノ中小鑛山、殊ニ銅山ノ經營ノ收支概算ヲ私詳シク調べタノデアリマシテ、一々是ハ實際調査シタノデアリマスガ、此ノ資料ハ讀上ゲルト餘リ煩瑣ニナリマスカラ、委員長ノ許可ヲ得マシテ、材

料ニ出シタイト思ヒマスガ、何レモ私共ノ調べニ依リマスルト赤字ニナツテ居リマシテ、殆ド困難ナ狀態ニアルノデアリマス、現在ノヤウナ價格ニ於キマシテハ、殆ド見込ガナイト私共ハ考ヘテ居リマス、ソコデ之ニ對シテ價格ヲ引上ゲルカ、或ハ生産費ヲ引下ゲルヤウナ方法ヲ執ルカ、或ハ何等カ補助政策ヲ執ラナケレバ、中小鑛山ト云フモノハ今年ノ中ニ殆ド休業シナケレバナラナイヤウナ狀態ニナルノデハナカラウカト考ヘテ居リマスガ、此ノ價格ノ問題ニ對シテハ、物價局ノ方面及ビ此ノ直接ノ指導ヲナサツテ居ル所ノ鑛產局ノ兩方面カラ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○牧政府委員 銅ニ付キマシテ價格ノ點ヲドウスルカト云フ御話デアリマスガ、銅ノ生産費ガ非常ニ高クナリマシテ、今ノ價格デハ相當増產ニ困難ガアルト云フ聲ハ度々聞イテ居ルノデアリマス、先般モ陳情ガアリマシテ、相當大幅ノ値上ノ要求ガアルノデアリマスガ、先般鑛產局長ガ申上ゲマシタ通り、是ハ根本對策ト配合ツテ考慮シナクテハナラヌ問題デアリマスカラ、ソレ等ノ點ヲ今折角研究シテ居リマス、併シナガラ餘リ大幅ノ値上デアリマス、是ハ製品ニ及ボス影響ガ大キイノデアリマスカラ、ソレ等ヲドウスルカト云フヤウナ點モ、目下併セテ研究ヲ致シテ居ル譯デアリマス

○鈴木(英)政府委員 當局ニ於キマシテモ、銅山ノ採算經營狀態ハ前カラ調査シタモノガアリマシテ、資料モ或ル程度出來テ居ルノデアリマス、要ハ現在ノ品位——低品位ノモノハ一%位ノモノガ大體ノ標準ニナツテ居リマスガ、ソレヲ標準ニシテ採算ヲ研究シテ見マス、勿論ソレデ十分ナ山モアリ

マスガ、又其ノ採算ヲ割ツテ居ル山モアルノデアリマス、最近増産ニ懸命ニナツタ結果、最近一ノ品位ヲ尙ホ少シツツ低下シテ居ル次第デゴザイマス、物價高ニ逆比例シテ品位ガ低下シテ居ル次第デアリマスカラ、山ノ方ノ經營ガ相當困難ヲ來シテ居ル向キガアルト云フコトモ事實デアリマス、鑛產當局トシテハ、甚ダ此ノ點遺憾ニ思ツテ居ル次第デゴザイマスガ、何トカ此ノ方面ノ方法ヲ考慮致シマシテ、休山スル山ノナイヤウニ、十分關係當局ト打合セテ行キタイト思フ次第デゴザイマス

○川俣委員 大體政府ノ答辯必ズシモ諒承出來ナイ譯デアリマセヌケレドモ、今ノ鈴木サンノ御答辯ニ依ルト、銅品位一ノ位デモ赤字デナイ山ガアルト云フ御答辯デアリマスレバ、其ノ點ダケハ修正ヲ要スルノデハナイカト思ヒマス、銅品位ハ恐ラク中小鑛山デアリマスレバ、三ノ、四ノ程度デナケレバ黒字ニスルコトハ容易デナイト思フ、勿論中或ハ大ニ近イ所デアリマスレバ三ノ以下デモ幾ラカト一ノ位ニナツテ居ルカモ分リマセヌガ、中小鑛山デアリマスレバ、三ノデハ容易ニ採算ガ合ハナイ所ニ立至ツテ居ルト思フ、隨テ現在ヤツテ居ル所ハ四ノ乃至五ノ所デナケレバ稼行致シテ居ラナイヤウナ状態ニ立至ツテ居ルト思フ、所ガ日本ノ所謂中小鑛山ガ營ンデ居リ、目標ニ致シテ居リマスノハ、尙ホ未開發ニナツテ居リマスルモノハ恐ラク二ノ乃至一ノ程度程ノモノガマダ殘サレテ居ルノデアリマスカラ、ソレ等ノモノヲ開發スルコトニナリマスレバ、到底採算ノ合ハナイコトハ私ハ明瞭ダト思ヒマス、私ハ一々調べタノガアリマスガ、讀上ゲルノハ手數ガ掛カリマ

スカラ、是ハ參考ト致シマシテ委員長ノ下ニ出シタイト思ヒマス、總テノ物價ヲ上ゲロ上ゲロト云フコトニナリマスレバ、私ハ物價政策ノ上カラ非常ナ危險ヲ孕ンデ參ルト思ヒマスノデ、此ノ値上ニ付キマシテハ相當考慮シナケレバナラヌ點ガ澤山アルトハ考ヘマスケレドモ、ヤハリ石炭、銅及ビ「マシ」ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、相當考慮セラレナケレバナラヌデハナカラウカト思フノデス、ソレト同時ニ、モウ一ツ商工省ニ此ノ點ニ付テ御尋ネシナケレバナラヌト思ヒマスノハ、農林省ノ大體ノ政策ト致シマシテハ、農產物價ヲ引上ゲルト云フコトニ付キマシテハ、非常ニ骨ヲ折ルノデアリマス、所ガ商工省ハ必ズシモ上ゲルコトニ骨ヲ折ラヌト云フ意味デアリマセヌケレドモ、色々ナ物價ト配合セナケレバナリマセヌノデ、比較的其ノ低物價政策ヲ引受ケナケレバナラヌ日本全體ノ部分ヲ受持ツテ居ラレマスノデ、上ゲタクトモ恐ラク上ゲラレナイデ居ラレハ私ハ認メルノデアリマスガ、併シナガラ農產物價ガ上ルト云フコトヲ、他省ノ管轄デアルト云フヤウナコトデ放任致シテ置キマスレバ、商工省ノ側ニ於ケル所ノ各種ノ生産ガ低減サレル結果ニナリハシナイカト云フコトヲ私ハ惧レテ居ルノデアリマス、私共カラ見マスレバ、是ハ鑛産ニ取ツテ一ツノ大キナ問題デアルト思ヒマスルコトハ、最近ノ農村利潤ガ非常ニ他ノ利潤ト比較致シマシテ上リツツアル、利潤ガ良イト云フ點デアリマス、利潤ノ良イト云フ點ハ二ツニ行クト思フノデスガ、一ツハ所謂農村ノ土地ヲ投資目標ト致シテノ地代トシテノ利潤ガ、他ノ産業ト比較シマシテ利潤ガ好イト云フ點

デス、モウ一ツハ農產物價ガ米ヲ拔キマシテ二、三ノモノハ生産費ヲ割ツテ居ルト云フコトニナリマスルケレドモ、他ノ農產物價ハ必ズシモ「コスト」ヲ割ツテ居ル譯デアリマセヌシ、茲ニ適當ナ利潤ヲ見テ居ルヤウナ状態デアリマス、隨テ茲ニ憂慮スベキ事態ト致シマシテ、私共ノ見ル點デハ、或ハ熟練工ガ相當ノ資産ヲ遺シテ、歸郷シテ土地ニ投資シテ其處デ生活スルト云フヤウナ傾向ガ見エテ來タト思フ、勿論若イ者ガ離村致シマシテ、勞働者ニナツテ都會ヘ出行クト云フ傾向モアリマスルケレドモ、都會ニ於ケル熟練工ガ其ノ技術ヲ擲ツテ地方農村ニ利潤ヲ求メテ歸ツテ來ルト云フヤウナコトニナリマスレバ、折角茲ニ工業ヲ發展サセテ來マシタ熟練工ガ地方ニ消滅シテシマフト云フコトハ、私ハ恐ルベキ傾向デハナカラウカト思フノデアリマシテ、是等ノコトハ農產物價ガ農林省ノ關係デアルト云フヤウナコトデ、私ハ放任シテ置クコトハ出來ナイコトデハナカラウカト考ヘマスケレドモ、此ノ點ニ付テノ物價局ノ御意見ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○牧政府委員 農產物價ハ農林省ニ於キマシテ寧ロ引上ゲルヤウナ傾向ガアル、商工省ハ低物價政策ヲ堅持致シマシテサウデナイ、其ノ結果ハ商工省方面ノ關係物資ノ利潤ハ減リマシテ、農村關係ノ事業ハ利潤ガ増シテ行ク、サウ云フ關係カラ致シマシテ、折角養成サレタ所ノ熟練工ガ歸農シテシマツテ、將來産業界ニ非常ナ影響ヲ及ボスノデハナカラウカト云フ御心配デアリマスガ、餘リ古イコトヲ申上ゲルノハ如何カト考ヘマスガ、農產物ニ付キマシテモ、農林省ニ於キマシテ政府ノ低物價政策ニ協調致シテ參リ

マシテ、最近ニ於キマシテハ、例ヘバ水產物デアリマス、トカ、青果、蔬菜等ノ如キニ至ルマデ、低物價主義ニ基ク所ノ公定價格ヲ定メテ參ツテ居ル譯デアリマス、隨テ是等ノモノガ窮屈ニナツテ參リマシテ、寧ロ今川俣サンノ仰シヤルノトハ反對ノヤウナコトガ言ハレテ居ルヤウナ現狀デゴザイマス、併シナガラ何レニ致シマシテモ、今仰シヤルヤウナコトニナリマス、結果ハ熟練工ガ歸農スルト云フヤウナ現象ヲ起サナイトモ限ラナイノデアリマシテ、獨リ低物價政策ト申シマシテモ、商工省ノミデ出來ルモノデアリマセヌ、大藏省ノ金融方面デアリマス、トカ、産業關係方面ノ省ガ同一歩調ヲ行カナケレバ、低物價政策ハ實現ガ出來ナイ譯デアリマスカラ、是等ノ方面ノ連絡ト申シマスカ、實質的ニ同一歩調ニナツテ行クヤウナ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、形ト致シマシテハ御承知ノ通り農產物ニ付キマシテモ、價格ノ決定ヲ致ス場合ハ、中央ノ價格形成委員會ノ議ヲ經テ決定スルト云フヤウナコトニ致シテ居リマスシ、又多クノ係官ヲ相互ニ兼官致シマシテ、連絡ヲ圖ルト云フヤウナコトモ致シテ居リマス、尙ホ今後ハ企畫院ニ於キマシテ物價委員會ガゴザイマスガ、是等ノ機關ヲ利用致シマシテ、今御心配ノヤウナ點ノナイヤウニ努メル、又企畫院ノ參與會議ニ於キマシテハ、其ノ物價ノ根本問題ニ付キマシテ、今舉ゲラレタヤウナ點、其ノ他ニ付キマシテ、將來考慮シテ行クト云フヤウニシテ居ルノデアリマシテ、物價ガ農林省ト商工省トデ步調ヲ異ニスルト云フヤウナコトニナラナイヤウニ、目下努力ヲ續ケテ居ル譯デアリマス

○川俣委員 農產物價ガ全部非常ニ利潤ガ

好い、斯う私が申上ダタノデアリマスガ、農産物價ノ生産費ト云フモノヲ算出スルコトガ非常ニ困難ナノデアリマシテ、ソコガ農林省ト商工省トノ意見ヲ異ニスル根本ニナルト思フノデアリマス、例へば大根デアルトカ、芋デアルトカ云フモノデモ、芋ノ生産費ハ幾ラカト云フヤウナコトハ、芋自體カラ計算ガ出來ルノデハナクシテ、其ノ地方ニ於ケル狀況ガ生産費ヲ非常ニ上ダタリ下ダタリ致シテ居ルノデアリマシテ、生産費ヲ算出スルコトガ、例へば農林省デ問題ニナリマス場合、或ハ農會等デ問題ニナリマス場合ハ、外ノ工業品ト違ヒマシテ、或ル工場ニ備付ケラレタ機械、或ハ勞働力、或ハ資本カラ見テ行ク所ノ生産費ト云フモノト違ヒマシテ、農産物ト云フモノハ其ノ生産費ノ中ニ地代、勞力、資材ト云フモノガ入ルノデアリマスケレドモ、其ノ勞力ト云フモノノ程度ニ換算シテ行クカト云フコトニ依ツテ、農産物價ヲ如何ニ定ムベキカト云フコトノ基本ガ出テ參ルノデアリマスガ、農業ノ餘力トシテ生レテ來ル勞働力トシテ生レテ來ル勞働力ト、本業トシテ一定ノ勞働量ヲ價值トシテ見テノ生産費ノ見方ト、ソコニ私ハ生産費ノ計算ガ非常ナ違ヒヲ來スト思フノデアリマシテ、隨テ米ヲ專業ニ致シテ居ル者カラ見、マスレバ、現在ノ價格デハ割ガ合ハナイコトニナルカモ知レマセスケレドモ、米ヲ副業トシテ居リマスレバ、必ズシモ現在ノ價格デハ割ハナイト云フヤウナコトハ考ヘラレナイノデアリマシテ、唯日本全體ノ米生産費ト云フモノカラ見テ、勿論生産費ヲ割ツテ居ルト云フコトダケハ明瞭デアリマスガ、部分ニ於テ米ノ生産費ヲ全部割ツテ居ルト云ヘバ、

私ハ割ツテ居ラナイ所ガ澤山アルト思フ、米ニ於テスラサウデアリマスカラ、農産物ノ生産費ヲ幾ラニ見ルカト云フコトハ非常ニ難カシイノデアリマス、難カシイ所ニドウシテモ高クナル危險性ヲ孕ンデ居ルト見ナケレバナラスト思フノデス、私ハ物價問題ヲ言フコトヨリモ、此ノ適正ナモノヲ決メテ置カナイト、サナキダニ少イ所ノ勞働力ヲ、適當ナ所ニ持ツテ行カウト致シマシテモ、勞務管理ノ方面カラ、甲ノ方面ヘ勞働力ヲ持ツテ行カウト致シマシテモ、之ニ物價政策ガ伴ツテ居ナイト、乙ノ方面ヘ勞働力ガ流レテ行クコト云フヤウナ結果ニナツテ、所期ノ目的ヲ達シナイヤウナ結果ニ私ハナルト思フ、尤モ具體的ノ例デ申シマス、石炭ノコトニ付キマシテハ何レ申上ダタイノデアリマスガ、例トシテ申上ダマス、石炭ノ増産ニ向ツテノ障礙ニナツテ居ルハ、勿論資材デアルト云フ點モ言ハレテ居リマスケレドモ、私ハ日本ノヤウナ所ニ於キマシテハ、勿論資材モ不足デアリマスケレドモ、資材ノ不足ハ勞働力ニ依ツテ補ヒ得ラレルノデアリマス、相當ナ所マデ勞働力ノ補給ニ依リマシテ其ノ増産ヲ圖リ得ラレルノデアル、所ガ北海道ノ例ヲ見ルト、東北方面カラアレダケ北海道炭山ニ流レテ居ツタ所ノ勞働者ガ、最近ハ全部止マツテ居リマス、寧ろ歸ツテ來テ居ル、是ハ私ハ相當考ヘテヤラナケレバラス點ダト思フ、ソレハ地方農村ニ於テ一番惠マレナイト云フ東北地方デスラ、私ハ農産物ノ價格ノ上カラ、マダ他ノ物ト比ベテ非常ニ有利ナモノガアルト云フコトガ發見出來得ルノデアリマシテ、私ハソレガダチラガ宜イカト云フコトデハナクシテ、モウ少シ北海道方面

ヘ勞働力ヲ流サナケレバナラナイトスレバ、流サナケレバナラナイヤウナ方法ヲ執ラナケレバナラス、或ハ東北ノ農産物ノ増産ヲ圖ラナケレバナラス、北海道ノ炭ハ第二義的ニ考ヘルト云フコトニナリマスナラバ、是ハ東北ノ農産物ノ價格ニ付テノ考慮ヲ回ラサナケレバナラスト思ヒマス、何レヲ主ニシテ何レヲ第二ニ考ヘルカ、勞働力ヲドチラニ持ツテ行カウト云フコトヲ考ヘナイデ、一概ニ石炭ヲ増産スル、或ハ米ヲ増産スル、食糧ヲ増産スルト言ヒマシテモ、此ノ勞働力ノ按配調整ト云ヒマスガ、或ハ管理ヲ考ヘナイデハ増産ヲ圖ルト云フコトハ机上論ニ終ツテシマフト思フ、ダカラシテ物價問題ハ單ナル物價問題デハナクナツテ來テ居ルノデハナカラウカ、如何ニ勞働力ヲ按配スルカ、ドチラヘ此ノ勞働力ヲ持ツテ行カウト云フコトマデ考ヘテ行カナケレバナラスト思ヒマスノデ、サウ云フ點ト睨合セテ、物價問題ヲ考ヘテ行カナケレバナラスト思ヒマスケレドモ、此ノ點ニ付テノ御見解ヲ御答辯願ヒタイト思ヒマス

○牧政府委員 物價政策ノ實效ヲ舉ゲマス爲ニハ、先程申上ダマシタ通り、金融ノ關係、勞働力ノ關係、其ノ他輸送力ノ關係等色々アリマスガ、大體商工省ニ於テ考ヘテ居ル所ヲ申上ダマス、先程御示シノ通り公定價格ヲ決メマス前ニハ適正價格デナクテハナラス、適正價格ヲ以テ物價政策ノ基調トスルト云フコトハ、今ヤツテ居ル所デアリマシテ、其ノ適正價格ハ如何ナル所ヲ以テ適正價格ト云フカト申シマス、ヤハリ各種ノ商品ニ付キマシテ、一々原價計算ヲ致シマシテ、其ノ原價計算ニ基イテ中庸生産費ヲ見、之ニ利潤ヲ加ヘテ公定價格ヲ作ルト云フヤウナやり方ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ先程御話ノ通りニ、農産物ニ付キマシテハ今言ツタヤウナ形式ニ從ツテ公定價格ヲ見出スト云フコトガ中困難デアリマシテ、是ハ御話ノ通りデアリマス、鑛産物ノ方ハ今言ツタヤウナ意味ノ適正價格ヲ見出スコトガ樂デアリマス、サウ云フ關係ニアリマスガ、此ノ適正價格ヲ作ル場合ニドウ云フ根本ノ考ヘヲ持ツテヤツテ居ルカト申シマス、戰時ニ際シテ必ズ増産ナリ生産ナリヲ確保シナクテハナラナイト云フ物資ニ付キマシテ、其ノ生産ガ確保セラレルヤウナ意味ノ適正價格ヲ取ツテ居ル譯デアリマス、一番分り易イ例ヲ申上ダマス、例ノ七・七禁令デアリマスガ、七・七禁令ノ趣旨ハ、戰時ニ必要トスル所ノ動力、勞力、原料、資材、其ノ他技術者等、生産條件ノ重要ナルモノガ戰時ニ必要ナルモノノ生産ニ向ツテ行クヤウニシタイ、謂ハバ不急不要品ノ製造ニソレ等ノモノガ向カナイヤウニスルト云フ趣旨ノ下ニ七・七禁令ノ制定ヲ致シタ譯デアリマス、此ノ根本精神ハ、他ノ物價ヲ決メル場合ニモアルノデアリマシテ、必要ナルモノガ必要ナルモノノ生産ニ向フヤウニシタイ、是ハ今御話ノ通り、一ツノ例ヲ申シマス、勞働力ト云フヤウナ今後最モ考慮シナクテハナラナイ問題ニ付キマシテモ、サウ云フ考ヘヲ以テ工夫ヲ凝シテ行クヤウナ譯デアリマス、尙ホ此ノ價格政策ヲ實效アラシムル爲ニハ、先程御話ノヤウニ、勞働力ト云フモノハ十分考ヘナクテハナラナイ、殊ニ石炭デアリマス、鐵デアリマス、スラ、斯ウ云フ重要物資ニハ多大ノ勞働力ノ増加ヲ必要トスルノデアリマスカラ、是等ニ付キ

マシテハ厚生省色々方策ヲ講ジテ參ツテ居リマス、今回勞働手帳法案等ノ出サレタノモ、サウ云フ趣旨ニ基クモノデアラウト思ヒマスガ、所謂價格政策ト云フモノノ商工省デヤツテ居ル部分カラ見マシテモ、今申上ゲマシタヤウナ意味ノ考慮ヲ以テ、實際ノ價格政策ヲ運用シテ行ツテ居ル譯デアリマス

○川俣委員 其ノ物價ノ問題ニ付テハ、私ノ希望意見ヲ述ベテ打切りマスガ、私ハ物價ヲ決メルニハ、物ノ生産費カラ推シテ其ノ物價ヲ決メルト同時ニ、勞働力ガドチラヘ流レルカ、決メナイ方ニ流レルト云フヤウナコトモアルカラ、勞働力ヲ必要ナ方面ニ流スト云フコトヲ考慮ニ入レテ決メテ行カナイト、或ル物ダケハ公定價格ヲ決メテモ、或ル物ハ決マツテ居ナイト云フト、ソチラニ勞働力ガ流レテ行ツテ、所期ノ勞働量ヲ得ラレナイ結果ト相成ルコトヲ悞レルト云フ點ヲ申上ゲタ譯デアリマスガ、總テノ物價ヲ決メルニ於テ其ノ點ニ付テノ考慮ガ必要デアルト思ヒマスモウ一ツ御尋ネシタイノデアリマスガ、國產「マンガ」自給協會ト云フ所カラ「マンガ」値上ノ適正價格制定ノ申請ガ出テ居ルヤウニ聞イテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ハ如何ニナツテ居リマスカ、之ニ對スル御見解ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○牧政府委員 數日前ドウ云フ團體デアリマシタカ、四、五人ノ當業者ノ方ガ參リマシテ、其ノ團體ノ名前ハ記憶シテ居リマセヌガ、陳情書ヲ持ツテ參リマシテ、「マンガ」ノ値上ヲ要望シテ參ツテ居ル事實ハゴザイマス

○川俣委員 是ハ最近起ツタ問題デハナク

シテ、私ハ此ノ團體ノ内容ヲ能ク知ラスノデアリマスケレドモ、鑛產物トシテ考ヘテモ、「マンガ」ト云フモノガ最近非常ニ重要ニナツテ來タノデアリマシテ、殊ニ原鑛ヲ以テ製鐵業ヲ營ムト云フコトノ傾向ヲ持ツテ參リマシタ今日、此ノ製鐵製鋼ニ要スル所ノ「マンガ」ト云フモノハ、改メテ考ヘ直サナケレバナラス時代ニナツテ來タト思フノデアリマシテ、此ノ價格ノ問題モ、鐵、石炭ト配合セマシテ、價格ヲ引上ゲルカ、或ハ其ノ生産費ヲ引下ゲルヤウナ方法ヲ執ラレルカ、是ハ私ハ必ズシモドチラヲ探レト云フコトハ申上ゲマセヌケレドモ、ヤハリ是ハ相當考ヘテ行カナケレバナラスト思フ、「マンガ」ガ日本ニナイ譯デハナイ、今マデハ銅デモ鐵デモ「マンガ」デモサウデアリマスガ、外國カラ輸入サレルト云フコトヲ目標ニ致シマシテ、國內生産ニ重キヲ置カナイデ、外國ノ輸入ダケニ日本ノ鑛產ノ重點ヲ考ヘテ居ツタノデアリマシテ、改メテ鐵ヲ初メ、銅ト云フモノヲ國內生産ヲ主ニ考ヘナケレバナラナクナリマシタ今日ハ、價格ノ點ニ付キマシテモ相當私ハ考慮シナケレバナラナイ時代ニナツテ來タト思フノデアリマス、是ハ銅ト共ニ「マンガ」ノ値上等ニ付キマシテモ、私ハ十分ナ檢討ヲ要スルコトト思フノデアリマシテ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ十分御研究ニナツテ戴キタイ、私ハ此處ニ資料モ持ツテ來テ居リマスケレドモ、一々ソレハ申上ゲマセヌ、當局ニ於テ既ニ御調べノ點ダト思ヒマス、現在ノヤウナ價格デハ到底生産不可能ダト考ヘルノデアリマシテ、其ノ生産費ヲ引下ゲルカ、或ハ價格ヲ引上ゲルカト云フコトニ付キマシテハ當局ニ一任スルノ

デアリマスケレドモ、何レカノ方法ヲ執ラナケレバ——或ハモウ一ツハ、補助ノ方法、此ノ三ツノ中何レカヲ採ラナケレバ所期ノ目的ハ到底達成出來ナイバカリデナク、當局ノ豫定ノ上ニ大キナ狂ヒガ來ハセヌカト云フコトヲ私ハ憂ヘルノデアリマシテ、此ノ點ヲ強く申上ゲマシテ當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○牧政府委員 最近重要物資ノ増産ヲ圖ル爲ニ値上ヲシロト云フヤウナ意向ガ多イノデアリマシテ、或ハ此ノ點少シ世間ニ誤解ガアリハシナイカト思ヒマスカラ、申上ゲテ見タイト思フノデアリマスガ、先程申上ゲマス通り、公定價格ヲ決メルニハ、生産費ニ利潤ヲ加ヘテ居リマスカラ、其ノ公定價格其ノモノガ物ノ生産ヲ障礙シテ居ルト云フコトハ、マア理窟カラ、言ヘバナイ譯デス、唯今仰セノ通り、外交轉換ニ伴ヒマシテ重要物資ノ増産ヲ圖ラネバナラス狀態ニ立至ツテ居リマスカラ、是等ノモノヲ急激ニ増産サセルト云フコトニナルト、生産條件ガ惡化スルト云フコトハ當然デアリマス、生産條件ガ惡化スレバ生産費ガ高クナルト云フコトモ當然デアラウト思ヒマス、又物ニ依ツテハ、其ノ根本對策ノ立テ方次第デ、非常ニ大幅ニ生産費ガ上ルダラウト思ヒマス、ソコデ此ノ大幅ノ生産費ノ増加ヲ、全部販賣價格ニ振り掛ケテ宜イカト云フト、是ハサウ云フコトニナラナイコトハ當然デアリマシテ、或ハ仰セノ通りニ生産費ノ低下ヲ圖ルヤウニ努力スル、是ハ勿論デアリマスガ、併シ大幅ノ場合ハ中々サウハ行キマセヌカラ、之ニ工夫ヲ加ヘナケレバナラス、ソコデ販賣價格ニ全部掛ケナイト致シマス、ヤハリ物ニ依リマシテハ「プー

ル」計算等ヲ致シマシテ、買取補償金ヲヤルトカ——現ニヤツテ居ルモノモアリマスガ、サウ云フコトヲヤル、或ハ生産獎勵金ヲ出ストカ云フヤウナ、色々工夫ヲシマシテ、國民モ、低物價政策ハヤツテ居ルガ、其ノモノニ付テハ政府モ色々工夫ヲシテ、已ムヲ得ザル所ヲ上ゲタト云フヤウニ納得ノ行ク方法ヲ執ラナイト、ヤハリ物價ノ惡循環ナリ、低物價政策ニ對スル政府ノ信賴ヲ失フト云フヤウナコトニナリマシテ、國民生活上由々シイ問題デアリマスカラ、サウ云フ努力ヲシヨウト思ツテ居リマス、ソレデ、物ニ依ツテ一概ニ言ヘナイノデスガ、サウ云フ方法ヲ併セ用ヒマシテ、出來ルダケ第二次、第三次ト製品ノ價格ヲ吊上ゲルト云フコトニナラナイヤウニスルト云フコトヲ、根本ノ考ヘト致シテ居リマスノデ、値上ヲシロト云フコトニ對シテハ、飽クマデモ値上ヲシナイデ何カ方法ハナイノダラウカト云フコトヲ努力ヲシテ居ルノダト云フコトヲ、御答ヘヲ致シテ居ル譯デアリマス、此ノ點世間ニ誤解ガアルヤウデアリマスカラ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○川俣委員 是ハ最近起ツタ問題デハナク

○川俣委員 是ハ最近起ツタ問題デハナク

○川島委員長 鶴君ニ申上ゲマスガ、石炭ニ關スル質問ハ大分通告ガアリマシテ、ソレハ明日纏メテヤルコトニナツテ居リマスカラ、石炭ニ關係以外ノコトヲ御願ヒ致シマス——鶴君

○鶴委員 極ク簡單ニ鑛產局長ニ御尋ネ致シマス、現在鑛物資源ノ生産ニ付テ、營業稅又ハ所得稅ノ免稅ニナツテ居ル種目ヲ御説明願ヒマス

○川俣委員 是ハ最近起ツタ問題デハナク

○鈴木(英)政府委員 所得税法第五條ニ基

イテ、同法施行細則第二條ニシテガ書イテアルノデハナイカト思ヒマスガ、金、銀、銅、錫、鉛、鋅、錫、亞鉛、鐵、硫、化、鐵、滿、鐵、(ニッケル)鐵、水、銀、鐵、(クロム)鐵、石油、石炭及砂鐵カト思ヒマス

○鶴委員 其ノ稅種ハ所得稅ノ免稅デスカ、營業稅デスカ

○鈴木(英)政府委員 所得稅ノ免稅デスカ

○鶴委員 サウスルト今御説明ニナリマシタ外ニ、今マデ隨分輸入シテ居リマシタ「モリブデン」云フモノノ輸入ガ最近止マツタヤウナ關係カラ、是ハ相當ニ重要礦物デア

ルト云フ話ヲ聞イテ居リマスガ、之ヲ内地デ増産計畫ヲスルト云フコトニナリマスレバ、サウ云フ重要物產ニ對シテモ、同様ナ所得稅ノ免稅ト云フ恩典ヲ與ヘラレル御意思アリヤ否ヲ御尋ネ致シマス

○鈴木(英)政府委員 「モリブデン」ガ所得稅ノ免稅カラ拔ケテ居ルト云フコトハ、前カラ聞イテ居ル次第デゴザイマス、尙ホソレニ似タヤウナ物デ「タンダステン」ガドウカト云フヤウナコトモ聞イテ居ル次第デゴザイマス、從來何故是ガ拔ケテ居ルカト云フコト

モ一應考慮シテ見タノデアリマスガ、マア多分内地ニハ餘リ出ナイカラト云フヤウナ意味デ拔ケテ居ルノデ、ドウモ其ノ外ニ大シタ理由ハナイト思ヒマスガ、是ハ同ジク中ニ一緒ニ入レタ方ガ宜イノデハナイカ

ト當局デハ考ヘテ居リマス、關係省ト十分協議致シマシテ、此ノ問題ハ良イ方ニ一ツ解決シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○鶴委員 重要礦物デ他ニ拔ケタ物ハ成ベク同様ナ恩典ニ與ルヤウニ、是非御配慮ニナルコトヲ御願ヒシマシテ、私ノ質問ヲ打

切リマス

○川俣委員 一寸關聯シテ伺ヒマスガ、重

要礦物ニ付テ當局ノ見解ヲ聽イデ居リマス、商工省豫算ニアル所ノ重要礦物ノ方面ニ使用スル機械ノ補助ノ方ノ重要礦物ト、重要礦物増産命令ヲ出サレタ所ノ重要礦物トガ一致シナイ點ガアルト思フノデアリマ

ス、機械ノ方ノ重要礦物ハ普通ノ金屬ノコトヲ意味シテ居ルヤウデアリマス、所ガ増産ノ方ニハ硫黃ト云フヤウナ非金屬モ入ツテ居ルヤウニ思ハレルノデス、其處ニ食達ヒガアルヤウニ思フノデスガ、其ノ點ハド

ウデスカ

○鈴木(英)政府委員 一寸今ドノ礦物カ、其ノ種類ニ付テ遺憾ナガラ記憶シテ居リマセスガ、何カ加入シタ方ガ宜イト云フ礦物デモ御氣付ノ點ガアルノデアリマスガ

○川俣委員 重要礦物増産命令ヲ出ス所ノ重要礦物ノ中ニハ硫黃等ガ入ツテ居ル、是ハ當局ノ説明ガサウデアル、所ガ機械器具其ノ他ノ補助ヲ出ス所ノ重要礦物ノ中ニハ硫黃ガ入ツテ居ナイ、商工省ノ重要礦物デ

一方ハ取扱ツテ居ルガ、一方ハ取扱ツテ居ナイノハドウ云フ譯カト云フノデアリマス

○鈴木(英)政府委員 ソレハ其ノ當時ノ立法ノ精神ノコトハ能ク知リマセスガ、多分機械器具ノ方デハソレマデシナクテモ其ノ礦物ハ出ルト云フ意味デ、拔イタノデハナイカト思ヒマス

○川俣委員 是ハ今度ノ豫算ニ出テ來テ居リマスガ、其ノ中ニ入ツテ居ナイヤウデスカラ、尙ホ御調ベノ上デ御答辯ヲ願ヒマス

○長谷委員 先程ノ御尋ネニ引續イテ、アト殘ツタ點ヲ特ニ申上ゲタイノデアリマス、是ハ私カラ申上ゲルマデモナク、今日ノ商

工省ト云フモノハ全體ガ一丸トナツテ、見方ニ依ツテハ軍需省ノ責任ヲ持タナケレバ

ナラヌ所ノ省ニナツテ居ルト思ヒマス、詰リ經濟ノ參謀本部ニナツテ居ル譯ナノデアリマス、所ガ非常ニ企業院ノ掣肘ヲ受ケテ見タリ、大藏省ノ掣肘ヲ受ケテ見タリ、或ハ時ニ文部省、厚生省ノ掣肘ヲ受ケテ見タリ致シマシテ、非常ニ「デリケート」ナ形ニ

ナツテ仕事ヲナスツテ居ラレル、私達之ヲ咎メヤウトハ致シマセスガ、一ツ此ノ難局ヲ突破スル爲ニ、現在ノ機構ノ下ニ於ケル

商工省ト云フモノノ徹底的ナ自覺ヲ促シタイ、サウ云フ風ナ氣持カラ少シ御尋ネ申上ゲタイノデアリマス

今回御出シニナツタ所ノ天然ノ石油會社法案、ソレカラ人造石油會社法案、此ノ二ツノ法案ノ持ツ所ノ計畫性ト云フモノニ付

キマシテハ、過般其ノ數字ヲ承ツタノデアリマスガ、私達ハ今特ニ國民ト共ニ之ヲ心配致シテ居ル所ノ事實トシテ御尋ネ致シタ

イノハ、現在ノ日本ノ持ツ、又日本ガ取入レルコトノ出來ル、特ニ非常時下ニ於ケル海外ノ資源ト云フモノヲ最少ク計算致シマシテ、今回御出シニナツタ二ツノ法律案

ト云フモノカラ浮ビ出ル所ノ液體燃料ト云フモノデ、今後數年間ソレデ完全性ヲ持ツテ居ルモノデアルカドウカ、其ノ點ヲ御答ヘ願ヒタイノデアリマス

○東政府委員 天然石油ノ増産ノ目標及ビ人造石油ノ振興計畫ニ付キマシテハ、先程來度々繰返シ長谷君ノ御質問ニ御答ヘラ致シタノデアリマスガ、私共ハ今日我が國ノ資源ノ助長、ソレカラ是ガ開發ニ要スル

能力ト云フヤウナモノヲ、凡ユル方面カラ調査研究致シマシテ此ノ計畫ヲ立テタノデ

アリマス、此ノ計畫ガ最モ實現性ヲ持ツタ最高ノ計畫ト考ヘテ居リマス、之ニ付テ安心デアルカドウカ、斯ウ云フ御尋ネニ對シテハ、之ニ依ツテ我が國ノ液體燃料ノ計畫ヲ立テテ居ルノデアリマスガ、此ノ計畫ヲ以テ我が國トシテハ進ンデ行クノダ、ソ

レデヤツテ行ケルノダ、斯ウ申上ゲル次第デゴザイマス

○長谷委員 此ノ點ハ國民ノ齊シク聽カントスル所デアリマスルカラ、私カラ念ノ爲ニ質問ヲ致シテ置キマス、今ノ御答ヘヲ斯

ウ云フ風ニ取ツテ宜シイノデアリマスガ、現在日本ガ持ツ貯油、ソレカラ非常時下ニ於ケル所ノ日本ガ海外ヨリ取入レル所ノ液體燃料、此ノ二ツヲ前提ニ置キマシテ、今

御出シニナツタ二法案ニ依ル液體燃料獲得ト云フモノガ、コノ數年間日本ノ要求量ニ對シテ安全性ヲ完全ニ持ツテ居ルノダト云

フ風ニ受取ツテ宜シイデスカ

○東政府委員 左様ニ御諒承ヲ願ヒマス

○長谷委員 ソレニ附加致シマシテ、更ニ御尋ネヲ申上ゲタイノハ、此ノ法案ノ持ツ最高ノ道德ト云フ風ナモノガ發揮セラルル時期ガ來ルグラウト存ジテ居リマス、就キマシテハ製油關係、ソレカラ貯油關係ト云フ風ナモノノ基地ニ對スル所ノ關係ニ付キマシテモ、自ラ動ク可能性ガ出來テ來ヤセ

バナラスコトハ申スマデモアリマセヌ、ソ
コデ此ノ法案ヲ拜見致シマス、帝國石油
資源開發株式會社ノ權利義務ヲ繼承スルコ
トニ相成ツテ居リマス、其ノ監査關係
ニ付キマシテハ、相當ヤハリ嚴重ナル氣構
ヘテ私達希望シナレバナラスコト存ジマス、
其ノ權利義務ノ繼承監査ト云フ風ナモノニ
付キマシテハ、同ジク設立委員ノ方デヤラ
レルコトデハアリマセヌデ、他ニ何カ機構
ガアルンデヤナカラウカト思ヒマスガ、ソ
レハドウ云フ風ニナツテ居リマセウカ

○東政府委員 帝國石油資源開發株式會社
ハ御承知ノ通り昨年七月出來タバカリノ會
社デアリマス、其ノ事業ニ付キマシテモ
ヤツト計畫ヲ立テテ之ニ着手シヨウトシテ
居ル際デアリマシテ、此ノ監査關係ニ爾ク
面倒ナコトハナイト存ジマス、隨テ新會社
ヲ設立致シマス際ニ、設立委員ニ於テ此ノ
會社ノ監査等ニハ十分ニ合フコトト考
ヘテ居リマス

○長谷委員 サウスルト設立委員ノ方デ此
ノ繼承關係ノ監査ヲ致スト云フノデスガ、
其ノ際ハ特ニ御注意ヲ願ヒマス、昨年七月
ト云ヒマシテモヤハリ色々ノ言葉ノ上ノ取
引ガアルニ違ヒナイノデアリマスカラ、十
分御監査ヲ願ヒタイノデアリマス、次ニヤ
ハリ商工當局ト云フ立場ニ對シテ、是非ト
モ私達承リタイ、國民一般モサウダト信ジ
テ居リマス、ソレハ再三再四申上ゲルノデ
アリマスガ、本當ノ重點主義ト云フヤウナ
コトヲ實施ナサイマス、必ズソコニ整理
ト云フモノガ伴ヒ、必ズ強制廢止ノ要求ヲ
シナケレバナラスモノガアルニ違ヒナイノ
デアリマス、斯様ナ點カラソレニ伴フ所ノ
金融恐慌ト云フ風ナモノモ自ラ出テ參リマ

ス、又生産力ノ擴充ニ相反スル現象モ生レ
テ來ハシナイカト吾々ハ心配致シテ居リマ
スノデ、之ニ對スル對策ニ付テハ先程私ガ
御願ヒヲ申上ゲタ通り、一ツ萬全ノ重點主
義ヲ執ツテ貫フト同時ニ、半面ニ於テ現在
ノ情勢下ニ於テ一部恐慌狀態ヲ起スヤウナ
コトノナイヤウニ、一ツ御計畫ヲ進メテ置
イテ戴カナレバナラスノデハナカラウカ
私達考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテ
ハ一應國民ノ聽キタイト云フ立場カラ私御
尋ネヲ申上ゲタノデ、念ノ爲ニ御答辯ヲ要
求シタイノデアリマス

○東政府委員 只今御述ベノコトハ私共モ
同様ニ考ヘテ居リマス

○長谷委員 此ノ滿洲、臺灣、樺太方面ニ
要スル、其ノ他ノ海外地區ニ要スル資材ト
云フヤウナ物ノ割合、此ノ發言權ノ中心ハ
商工省ニアルノデスカ、資材配給ノ主體ハ
何處ニアリマスカ

○東政府委員 人造石油ノ振興計畫ニ付キ
マシテハ、日滿一體トシテ燃料局デ立案ヲ
シ、是ガ實施ニ當ルコトニナツテ居リマス
カラ、之ガ資材ノ配給其ノ他總テ燃料局ニ
於テ一元的ニ致シマス、其ノ他ノ物ニ付キ
マシテハ、或ハ物ニ依リマシテハサウ云フ
方法ヲ執ルモノモアルカト存ジマスガ、一
般的ニハ滿洲國ノ資材ノ配分ハ滿洲國側ノ
要求ニ付テ、企業院ト色々相談シタ結果、
是ガケヲ本年度ハ滿洲ニ割カウト云フコト
ヲ決メテ行クヤウナ手續ニナツテ居リマス
○長谷委員 天然石油ハドウデスカ
○東政府委員 天然石油ニ付キマシテハ、
現在ノ所試掘ノ程度デアリマスノデ、之
ニ要スル機械資材等ハ出來ルダケ必要ナ程
度日本側カラ融通スルコトニ取計ラツテ居

リマス

○長谷委員 左様ナ御答辯デアリマス、
私達斯ウ受取ツテ宜シイノデスカ、此ノ燃
料獲得ニ對スル——勿論人造、天然ニ跨ガ
ツテノ問題デスガ、一切ノ資材技術ニ關ス
ル配分ノ主體ハ商工省ニアルト私達ハ見テ
宜シイノデアリマスカ

○東政府委員 資材ノ配分ニ付キマシテハ、
人造石油ノ方ヘドレダケノ資材ヲ向ケルカ、
又石炭増産ノ爲ニドレダケノ資材ヲ向ケル
カト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、是ハ
全般的ニ企業院ニ於テ纏メテ、商工省側ノ
要求ト其ノ他ノ要求トヲ脫合ハセテ決定ヲ
致スノデアリマス、併シナガラ人造石油ニ
對シテ是ダケノ資材ヲ振向ケルト云フコト
ガ決マリマシタ其ノ資材ヲ、日滿何レニ向
ケルカト云フコトニ付テハ燃料局ガ之ヲ致
シマス

○長谷委員 サウスルト云フト、ヤハリ敵ハ
企業院ニアリト云フコトニナリマス、ソコデ
一番最初カラ私ガ御尋ネヲ申上ゲテ置キマ
シタ資材ノ不足ナドト云フモノハ、商工省ヲ
責メルベキモノデハナク、企業院ヲ責メテ
ケレバナラス問題ニ入ツテ行ク譯デアリマ
ス、能ク其ノ點ガ分リマシタ、貰ツタモノ
ヲアナタノ方デ割振りヲサレル、ソレヲ日
滿支ヲ通ジテ何處ヘデモ勝手ニ御使ヒニナ
ル、サウスレバ其ノ範圍内ニ於ケル重點主
義ノ資材ノ使ヒ方ト云フモノノ責任ハ商工
省ニアルコトハ當然デアリマス、ヨリ以上
ノモノヲ取ラウト思ヘバ企業院ヲヤツ付ケ
ルヨリ以外ニ方法ハナイ、能ク分リマシタ
ソレカラ此ノ事業ヲナス所ノ人達ニ付テ
デアリマス、私達寔聞ニシテ間違ツテ居ル
カモ知レマセヌガ、其ノ點ハ御教ヘテ願ヒ

タイノデアリマス、ドウモ業者ニ於キマシ
テハ、營業上ノ失敗ノ爲ニ會社不振ノ原因
ヲ成シテ居ルモノモアレバ、又技術上ノ失
敗モアル、所ガ事業自體ガ失敗デアルモノ
モアルノデアリマス、私達ハ其ノ大キナ經
驗ヲ實際トシテ知ツテ居ルモノモアリマス、
事業ニ着手後新シイ發明發見ガ出來タ場合
ニ於テモ、古いモノニ固着スルガ爲ニ、執
着スルガ爲ニ、ドウシテモ新シイ「スケ
ル」ニ入り切レナイ、コマデ金ヲ入レタカラ
ト云フノデ更ニ金ヲ注込ム、ソコニ何千万
圓、一億ニ近イ所ノ損害ヲ惹起スルト云フ
ヤウナ會社モアリ得ル、斯様ナ譯デ、非常
ニ事業自體ガ根本的ニ間違ツテ居ル場合モ
リマス、技術上ニ於ケル缺陷ハ是ハ補フ
コトガ出來ル、又營業上ノ失敗ハ是ハ補フ
コトガ出來ル、ガ事業自體ガ失敗デアルヤ
ウナ場合ニ於テモ、事業ニ固執シテ居ルヤ
ウナ者ハ、ヤハリ斬ラナケレバナラスノ
デヤナイカト存ジマス、私達斯ウ云フヤウ
ナ氣持ヲ以テ見テ來タノデアリマスガ、
液體燃料ニ關スル限り、油化工業ニ關スル
限り、性格的ニ見テ、此ノ事業ハ國營ニ移
スガ本筋デハナカラウカト思フノデアリマ
ス、現在海外ヨリ原油、精油ヲ手ニ入レラ
レル限り、國內ニ於テ油ヲ採ツテ居ラレル
方々ノ、人造石油ニ對スル所ノ所謂熱意ノ
限度ト云フモノガ、非常ニ「デリケート」ニ動
キハセヌカト思ツテ居リマス、ダカラ斯ウ
云フ見地カラスルト、非常ニ難局ニ立ツ所
ノ人造石油ト云フモノノ使命カラ見テモ、
是ハ損害ヲ覺悟シテ國營ノ事業ニ移スコト
ガ本筋デハナカラウカト思フ、ソレハ相競
爭サセテ立派ナ成績ヲ擧ゲルト云フ問題ヨ
リモ、寧ロ損失ヲ覺悟デ、大キナ「スケ

ル」デ、澤山ノ研究家ヲ入レテ、國ヲ舉ゲテノ事業ニ移シテ行カヌ限リハ、此ノ間御説明ニツタアノ數量ト云フモノハ、僅カ四箇年ノ間ニ見ルノ膨脹致シテ居リマスガ、アア云フ風ナ計畫ハ達成サレナイト云フ氣持ヲ持つテ居ルノデアリマス、過去ニ於テ個人ガ七千万圓モ八千万圓モ「ミステーク」ガアル、一億萬圓近イ所ノ「ミステーク」ガアリ、段々ト資本ノ内容ガ變ツテ來ル、斯ウ云フヤウナ事業ノ本質カラ見テ、サウ云フ苦痛ヲ嘗メサセ、サウ云フ立場ノ人達ヲ作ルヨリモ、寧ロ進シデ國家ガ其ノ苦痛ヲ嘗メタラドウカ、ト同時ニ、又半面ニ於テハ、天然石油ヲ取扱フ人達ハ餘リ人造石油方面ニ興味ヲ持タヌノデヤナイカ、斯ウ云フ風ナ氣持カラ、過般ノ星君ノ質問ニ私ハ或ル程度賛意ヲ表シタイノデアリマス、サウ云フ風ナ氣持カラ行キマシテ、採算ノ採レヌ所ノ此ノ人造石油ニ關スル限リハ、更ニ研究ヲ進メテ行カナケレバナラス、油化工業ニ關スル限リハ、徹底的ニ國家ガ之ヲ國營ニ移シテ事業化スル必要ガアルノデハナカラウカト存ジマス

○東政府委員 人造石油製造事業ガ非常ナ困難ナ事業デアリ、又頗ル利益ノ舉ラヌ事業デアルト云フコトハ、御承知ノ通りデアリマス、併シ之ヲ全部官營デアルガ宜イカト云フコトニ付テハ、中々問題ガアルト思フノデアリマス、今日計畫サレテ居リマス所ノ人造石油事業ヲ完成シテ行ク爲ニハ、資金ト致シマシテモ何十億ト云フ資金ヲ要シマス、又原料ノ石炭ニ致シマシテモ頗ル多量ノモノヲ要スルノデアリマス、サウ云フ大キナ事業ヲ官廳ノミデヤツテ行クト云フコトハ、過去ノ經驗カラ申シマシテモ、中

中困難ガアルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ寧ロ資金ノ調達其ノ他ノ方面ニ於テハ、國家ハ全面的ニ之ヲ保護シ助長スルガ、同時ニ民間ノ資本ヲ之ニ集メテ、民間ノ人達モ一面此ノ事業ガ國家ノ緊要性ヲ帶ビテ居ルト云フ點ニ鑑ミテ之ニ參加スル、同時ニ一方ニ於キマシテハ國ノ保護助成ニ依リマシテ、此ノ事業ガヤハリ相當程度ノ利益ヲ舉ゲテ行クノダ、事業トシテモ成立ツノダト云フ所マデ國ガ之ヲ助成シテ、民間側モ喜ンデ之ニ參加スルト云フヤウナ方法ニ依ツテ此ノ事業ヲ進行シテ行クノガ、今日ノ場合最モ妥當デア

ス
○長谷委員 出來掛ツタホヤノノ油化工業デアリマスルカラシテ、今日ノ場合ヤハリ長官ノ御説明ノ通りデアルカモ知レマセヌガ、其ノ中間體ヲ除イテ一元化シテ、日本ノ燃料ノ中其ノ何十「パーセント」カラ確保シナケレバナラス所ノ工業ガ、ソコニ中間體ガアツテ、特殊會社ノ立場ニ於テ非難攻撃ヲ受ケル所ノ餘地ヲ殘シテ置クト云フ所ニ、私達ハ何トナク割切レヌ問題ガアルト思フ、吾々ハ金ノ問題ヲ言フノデヤアリマセヌ、ソレハ公債デアラウト何デアラウト、何億何萬圓掛ツテモ宜イデヤアリマセヌカ、ダカラソレヨリモ寧ロ國家ガ生キテ行カナケレバナラスト云フ問題デアリマス、金ノ問題デハナイ、此ノ事業ノ性質カラ見テ、ココ數年間ト云フモノハ絕對ニ損ヲシテ行カナケレバナラス商賣デアリマス、ソレヲ補償スルト云フナラバ、言葉ヲ換ヘテ言ツタナラバ國營ニシタ方ガ宜イノデアリマス、併シ私ハ何モ彼モ全部國營ニスルト云フヤウナコ

トハ好カヌ、ナゼナラバ民間ノ潑刺タル所ノ知識ト云フモノガ、國營ニ依ツテ阻害サレルカラデアリマス、サウ云フヤウナコトガアツテハナラヌカラシテ、國營ニ移ス所ノ事業ト云フモノハ日本ノ國ニホンノ數個シカナイノデアリマス、殊ニ今日日本ノ國ニ天然石油ガ出ルナラバ宜イノデアリマス、天然石油ガ出ナイ以上ハ、人造石油ニ對シテ素晴シイ所ノ希望ヲ吾々ハ持タナケレバナラス、其ノ素晴シイ希望ト云フモノガ、斯様ナ中間體ヲ澤山置イタ形ニ於テ、補償トカ、補助トカ、或ハ獎勵トカ云フヤウナ程度デ以テ達セラレカドウカソレデ押切レルカドウカト云フ

コトヲ實ハ心配シテ居ルノデアリマス、成程商工當局ガ私ニ答辯サレタヤウニ、是デ宜イノダ、是デ此ノ間説明サレタアノ數字ノ液體燃料ガ、油化工業カラ出テ來ルノダト云フコトヲ確言サレルナラバ、吾々ハ此處デ質問ハスル必要ガナイ、ソレダケノ御確言ガアツテヤツテ居ラレルト云フコトハ分リマシテモ、現實ニ出ヌト云フ風ナ問題ガ起キタナラバ、國家ノ重大事デアル、斯様ナ氣持カラ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、實際言フト、此ノ事業ハ徹底的ニ損ヲ覺悟シテヤラナケレバナラス所ノ算盤ガ出テ來ル、其ノ徹底的ノ損ヲ補助ヤ獎勵金位デ以テ「カモフラージュ」スルナドト云フコトハ絕對ニ出來ヌ、是ハ又明日ノ午後ノ委員會デ御尋ネテ致シタイト思フノデスガ、況シテ石炭ト云フモノガ之ニ伴ツテ來ル、ダカラ何處マデモ損ヲ覺悟ノ前デ一滴ヲ戦ヒ抜カナケレバナラス油化工業ナノデアリマス、ダカラ其ノ點ニ付キマシテ特ニ私達ハ期待ヲ持つガ爲ニ御尋ネテ申上ゲタノデアリマシテ、燃料當局ヲ責メテモ斯様ナコトハ成立タ

ヌ、或ハ大藏省ガ文句ヲ言フ、何處ガ文句ヲ言フト云フヤウナコトガアツテ、商工當局ダケヲ責メテハイカヌノデスガ、過般カラ、機械ノ、或ハ鐵ノ、石炭ノ、此ノ液體燃料ノ問題ヲ聽キマシテモ、私達ノ手許ニ入ツテ居ル所ノ確信力ト云フ風ナモノニ付キマシテ割切レヌモノガアル、今日將ニ擴大セントスル戰爭情勢下ニ入ラントシテ居ル此ノ際ニ於キマシテ、日本ノ「ファウンデーション」、基礎ヲ築ク所ノ生産力ガ、斯ウ云フ風ナ角度ニ於テ進シテ來タコトヲ非常ニ案ジテ居ルノデアリマス、私達ハサウ云フ意味デ今申上ゲマシタ油化工業ハ國營ニスベキモノデヤナカラウカ、ソレカラ重點主義デ會社ヲ作ツテモ宜イカラ、徹底的ニ資材ト技術ヲ獲得ニ努メナケレバナラスノデヤナカラウカ、其ノ餘力ヲ展開シテ行カナケレバナラスノデヤナカラウカ、ソレカラ又製油工業ノ前進基地、貯炭所、貯油所ノ前進基地ト云フ風ナモノモ考ヘナケレバナラスノデヤナイカ、「スケール」ヲ更ニ大キクシテ、次ニ來ラントスル時代ニ絕對ニ遲レナイダケノ對策ヲ今カラ講ジテ置カナケレバナラスノデヤナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、無

イ財布ノ底ヲハタイテヤツテ居ラレル所ノ商工省ノ立場ヲ責メルノデアリマセヌ、私達ノ此ノ氣持ヲ斟マレテ、ドウカ吾々ノ氣持ニ副フヤウニシテ貰ヒタイ、商工當局ガ經濟參謀本部デアル以上ハ、今日大藏省ハ紙幣ノ發行所ニシカ過ぎナイ、ダカラ商工省ガ打ツテ一丸トナツテ、日本ノ戰時體制下ニ於ケル國防力ノ完全ナル一元ノ「ファウンデーション」ヲ作ツテ貰ハナケレバ、國民ハ立ツテ行ケナイ、是ダケノコトヲ申上ゲテ、何レ秘密會ノ席、或ハ商工大臣ノ

御出席ノ際——其ノ他物價問題ニ付テ、勞働力ノ確保ノ問題ニ付キマシテハ、次ノ機會ニ御尋ネヲ申上ゲルコトニ致シマシテ、私ノ質問ハ一應是デ打切ツテ置キマス
○川島委員長 明日ハ午前十時カラ開會致シマス、今日ハ是デ散會致シマス
午後四時四分散會